

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更の内容）	1
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性	3
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程の変更内容	5
4. 校舎等施設、設備の変更内容	21

1. 学則変更（収容定員変更の内容）

広島国際大学学則第4条に定めている学生定員について、平成32年度から次の通り、収容定員を変更する。併せて、総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科、医療福祉学部医療福祉学科、医療経営学部医療経営学科、心理学部心理学科、医療栄養学部医療栄養学科については、平成32年4月に学生募集を停止し、在籍学生が卒業した時点で廃止する。

- ① 保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻の収容定員を増加させる。
- ② 保健医療学部救急救命学科を新設（届出）する。
- ③ 総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科の収容定員を増加させる。
- ④ 健康科学部（医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科）を新設する。

これらの、収容定員増及び学部学科改組ならびに健康スポーツ学部の新設（認可申請）に伴い、本学全体の入学定員は940人から1,060人とし、収容定員を4,060人から4,500人に変更する。

広島国際大学収容定員増及び学部学科改組新設全体像

平成31年度					
学部・学科体制					
校地	学部	学 科 (専攻)	定 員		
			入学 定員	編入学 3年次	収容 定員
東 広 島	保健医療	診療放射線	70	-	280
		医療技術	130	-	520
		(臨床工学専攻)	(50)	-	(200)
		(臨床検査学専攻)	(40)	-	(160)
		(救急救命学専攻)	(40)	-	(160)
		計	200	—	800
	総合リハビリテーション	リハビリテーション	130	-	520
		(理学療法学専攻)	(60)	-	(240)
		(作業療法学専攻)	(40)	-	(160)
		(言語聴覚療法学専攻)	(30)	-	(120)
		リハビリテーション支援	30	-	120
		(義肢装具学専攻)	(30)	-	(120)
	計	160	—	640	
	医療福祉	医療福祉	100	10	420
		(医療福祉学専攻)	(50)	-	(200)
(介護福祉学専攻)		(20)	-	(80)	
(保育学専攻)		(30)	-	(120)	
計	100	10	420		
広島	医療経営	医療経営	90	-	360
		計	90	—	360
東 広 島	心理	心理	90	10	380
		計	90	10	380
呉	医療栄養	医療栄養	60	-	240
		計	60	—	240
	看護	看護	120	10	500
		計	120	10	500
	薬	薬	120	-	720
		計	120	—	720
合 計			940	30	4,060



平成32年度						
学部・学科体制						
校地	学部	学 科 (専攻)	定 員			
			入学 定員	編入学 3年次	収容 定員	
東 広 島	保健医療	診療放射線	70	-	280	
		医療技術	100	-	400	
		(臨床工学専攻)	(50)	-	(200)	
		(臨床検査学専攻)	(50)	-	(200)	
		救急救命	50	-	200	
		計	220	—	880	
	総合リハビリテーション	リハビリテーション	180	-	720	
		(理学療法学専攻)	(80)	-	(320)	
		(作業療法学専攻)	(40)	-	(160)	
		(言語聴覚療法学専攻)	(30)	-	(120)	
		(義肢装具学専攻)	(30)	-	(120)	
		学生募集停止				
	計	180	—	720		
	学生募集停止					
	呉	看護	看護	120	10	500
計			120	10	500	
薬			120	-	720	
計	120	—	720			
東 広 島	健康科	医療福祉	100	-	400	
		(医療福祉学専攻)	(50)	-	(200)	
		(介護福祉学専攻)	(20)	-	(80)	
		(保育福祉学専攻)	(30)	-	(120)	
	医療経営	90	-	360		
	心理	100	-	400		
呉	医療栄養	医療栄養	60	-	240	
		計	60	—	240	
一		計	350	—	1,400	
東 広 島	健康スポーツ	健康スポーツ	70	-	280	
		計	70	—	280	
合 計			1,060	10	4,500	

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

（1）保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻の定員変更

臨床検査技師の職務は、日本国民の医療及び公衆衛生の向上が目的であり、国民や他の医療職種から期待されているのは、臨床検査の専門家としての「医療の実践」である。臨床検査技師が医療のため何ができるのか、何をすべきかを中心に据えた職域拡大が求められている。また、高度な技術をより生かすための高度な臨床知識が要求されるようになり、高度先進医療現場においては、決まった職務を実践するだけでなく、臨床のニーズに創造的に対応できる能力が求められている。医療の現場において「チーム医療」の考え方が進むなか、臨床検査技師は専門的な「検査」の知識や技術を持つ存在として、重要視されている。医療の高度化により、簡単な検査は機械化される一方で、今後一層、専門性の高い臨床検査技師が求められており、検査にまつわる重要なデータを提供する臨床検査技師としての業務は重要性が増している。

このことから、保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻における開設以降の入学者選抜状況を踏まえるとともに、現在の教育組織や教育内容及び教育環境などの整備状況を勘案したうえにおいて、受験生からの高い進学需要への積極的な対応にむけて、入学者選抜の機能が低下しない範囲である入学定員 40 名から 10 名増の 50 名とする収容定員変更を行うこととした。

（2）保健医療学部救急救命学科の設置

高齢化が急速に進展する中、救急車両の出場回数は、年々増加傾向にあり、今後も救急救命措置を必要とする人の数が増えることが予測される。救急搬送でいかに多くの命を救うかということが大きな課題となっている現在、専門的知識・技術を有する救急救命士の需要は年々増加している。さらに、日本では自然災害が頻発し、災害への関心が高まるなか、地域社会での救急救命士の役割が注目されている。

このような状況を踏まえ、社会的ニーズに対応及び開設以降の入学者選抜状況を踏まえるとともに、現在の教育組織や教育内容及び教育環境などの整備状況を勘案したうえにおいて「保健医療学部医療技術学科救急救命学専攻」を「保健医療学部救急救命学科」に昇格し、受験生からの高い進学需要への積極的な対応にむけて入学者選抜の機能が低下しない範囲である入学定員 40 名から 10 名増の 50 名とする収容定員変更を行うこととした。

(3) 総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科の定員変更

日本は着実に超高齢社会の歩みを進めており、2017年の全人口に対する高齢者の割合は、厚生労働省の試算では75歳以上（後期高齢者）が13.8%、65～74歳（前期高齢者）を含めると27.7%とされている。また、認知症の高齢者は2020年には600万人を超えると推測され高齢化率の上昇により介護サービス難民の発生が懸念されている。今後、医療・福祉サービス従事者は、高齢者をいかに住み慣れた地域・自宅で生活させられるか、社会生活に適応させられるかが求められる。そのためには、専門的な視点で環境を整える必要があり、可能な限り自立した生活の維持と再構築ということが理学療法士としての責務であり、ますます理学療法士の需要増加が見込まれる。

このことから、総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻における開設以降の入学選抜状況を踏まえるとともに、現在の教育組織や教育内容及び教育環境などの整備状況を勘案したうえにおいて、受験生からの高い進学需要への積極的な対応にむけて、入学選抜の機能が低下しない範囲での収容定員変更を行うこととした。

また、リハビリテーション関連職種については多岐にわたり、それぞれの職種の役割と職種間連携を認識して患者・利用者に対して最も効果的な方法を探ることを提案しなければならない。

このような状況を踏まえ、社会的ニーズに対応するため、1学科1専攻である「総合リハビリテーション学部 リハビリテーション支援学科 義肢装具学専攻」を「リハビリテーション学科」に移行し「理学療法学専攻」、「作業療法学専攻」、「言語聴覚療法学専攻」、「義肢装具学専攻」の4専攻の教育体制を構築する。

(4) 健康科学部（医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科）の設置

本学が有する健康を軸とした幅広い学問領域を活かし、本学の様々な教育・研究を地域のあらゆる組織とつなぐ、実践的な取り組みを推進できる教育体系の整備を行うため、1学部1学科で構成されている「医療福祉学部 医療福祉学科」、「心理学部 心理学科」、「医療経営学部 医療経営学科」、「医療栄養学部 医療栄養学科」を「健康科学部」として集約し、各学科の学問領域を横断的に学び、学際的かつ実践的な取り組みを推進し、幅広い組織で活躍できる人材の育成を目指す。

具体的には、本学の特色である「専門職連携教育」を基盤とし、健康増進を形成する基本要素となる「身体活動・運動、休養、栄養・食生活」等の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善について、幅広く学ぶことにより、地域や一般企業等における健康増進・組織活性化に向けて貢献できる人材の育成を目指す。

また、「心理学科」については、公認心理師法が成立したことに伴い、公認心理師養成課程を設置し、基礎となる心理学部心理学科の入学定員 90 名から 10 名増の 100 名として、設置する。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程の変更内容

（1）保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻

ア 教育課程の変更内容

収容定員増加に際し、教育課程の変更は予定していないが、次の教育を行うことにより、教育の質は担保できると考える。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻は、急速に高度化・専門化する臨床検査領域に対応でき、さらに、人間性を尊重し、心豊かな医療人としてチーム医療で活躍できる「臨床検査技師」を養成する。そのための資格取得につながる学修を主たる目的とすることから、「臨床検査技師学校養成施設指定規則」に準じた授業科目構成としている。なお、1年次から専門教育科目を配置することで資格職としての意識を早期から高めており、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。2年次以降の専門科目では、病理組織細胞学、臨床血液学、臨床化学、臨床微生物学、臨床生理学などの専門知識を修得する。さらに、4年次の病院実習を通して実践能力、命の尊厳を基とした医療人としての人間性を育むための、教育課程を編成している。

イ 教育方法及び履修指導方法の変更内容

収容定員増に際し、教育方法及び履修指導方法については大幅な変更を予定していないが、次の理由から教育の質は担保できると考える。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。講義形式では50人とし、実験・実習形式では実験・実習室の広さ、設備など学生の教育効果を十分考慮して必要に応じて、臨床検査技師学校養成所指定規則に準じた人数をグループに分けて行う。

チュートリアルなどの演習科目は5人～6人とする。外国語系科目、卒業研究、学外実習科目等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1年次及び2年次では専門教育科目のうち専門基礎分野の科目を中心とし、年次進行に伴い臨地実習、卒業研究に向けて段階的に学修を進める。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後に開かれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイダンスやシラバス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP制を導入し、年間履修申請単位数の上限を48単位としている。

ウ 教員組織の変更内容

入学定員が10名増となるが、以下の理由により教育の質は担保できると考える。
医療技術学科専任教員19人（うち教授8人）のうち、本専攻では専門科目を担当

する専任教員9人（うち教授5人）で構成している。指定規則に準じ、臨床検査技師養成学校として必要な教員数を教育課程の編成方針を踏まえたうえで、主要分野の授業科目数や単位数に応じて、各教育内容における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置している。

（2）保健医療学部救急救命学科

ア 教育課程の変更内容

収容定員増加に際し、教育課程の変更は予定していないが、次の教育を行うことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学科の開設により、他学部等の教育課程に影響を及ぼすことはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

保健医療学部救急救命学科では、急速に高度化・専門化する救急の現場に対応でき、さらに、人間性を尊重し、心豊かな医療人として規律をもって活躍できる「救急救命士」を養成する。そのための資格取得につながる学修を主たる目的とすることから、「救急救命士学校養成施設指定規則」に準じた授業科目構成としている。なお、時代の要請と社会実勢に応じた内容の授業科目と教授方法を取り入れ、1年次から専門教育科目を配置することで「救急救命士」としての意識を早期から高め、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学修プログラムを配している。初年次から2年次にかけて学ぶ専門基礎科目を通じて、救急救命士に必要な基礎学力を育み、2年次以降の専門科目では、救急現場活動学、救急災害システム論等の各分野について学び、全学年に配当されている実習科目を通じて、救急救命士に必要な技術を修得する。3・4年次に行う演習・実習では、

医療行為（特定行為）や実践能力を修得し、さらに、学外実習を通じて救急医療に携わる医療従事者に必要な人間性を養うための、教育課程を編成している。

イ 教育方法及び履修指導方法の変更内容

収容定員増に際し、教育方法及び履修指導方法については大幅な変更を予定していないが、次の理由から教育の質は担保できると考える。また、本学科の開設の影響により、他学部等の教育方法及び履修指導方法の変更が生じることはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。講義形式では50人とし、実験・実習形式では、実験・実習室の広さ、設備など学生の教育効果を十分考慮して必要に応じて救急救命士学校養成所指定規則に準じた人数をグループに分けて行う。

チュートリアルなどの演習科目は6人～8人とする。外国語系科目、卒業研究、学外実習科目等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1年次及び2年次では専門教育科目のうち専門基礎分野の科目を中心とし、年次進行に伴い臨地実習、卒業研究に向けて段階的に学修を進める。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後にかかれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイダンスやシラバス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP制を

導入し、年間履修申請単位数の上限を 48 単位としている。

ウ 教員組織の変更内容

基礎となる保健医療学部救急救命学専攻から入学定員が 10 名増となるが、専任教員（教授）を 1 人増員するため、教育の質は担保できると考える。

本学科の専任教員 8 名（うち教授 4 人）のうち、7 名は救急救命士として現場経験を持つ教員であり、中には救急現場を 20 年以上経験してきた教員もおり、本学科が目指す、救急救命学の広い領域での知識・技術をもとに、日々進歩し続ける病院前救護の変化に対応できる能力や医療チームの牽引役になることができる能力を持てる人材を育成するための教員を配置している。

また、指定規則に準じ、救急救命士養成学校として必要な教員数や教育課程の編成方針を踏まえたうえで、主要分野の授業科目数や単位数に応じて、各教育内容における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置している。

(3) 総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻・義肢装具学専攻

ア 教育課程の変更内容

理学療法学専攻収容定員増加に際し、教育課程の変更は予定していないが、次の教育を行うことにより、教育の質は担保できると考える。

義肢装具学専攻については、既設のリハビリテーション支援学科からの移行である。入学定員の変更もないため、教育課程の変更はないが、次の教育を行なうことにより、教育の質は担保できると考える。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応

させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

理学療法学専攻及び義肢装具学専攻では、今後の社会変化や医療技術の進歩にも確実に対応できるよう、多様なリハビリテーション技術を、幅広い専門知識と技術に裏打ちされた問題解決能力を用いて総合的に提供でき、さらに、対象となる人々への深い人間愛や関係職種との協調性など、豊かな人間性を持つ「理学療法士」及びより長い期間、心豊かに人生を過ごせるよう、高齢者や障害のある方の生活自立や生活の質の向上を実現するリハビリテーション支援者として、義肢装具や福祉用具、福祉機器等の幅広い知識を有する豊かな人間味あふれる「義肢装具士」を養成する。そのための資格取得につながる学修を主たる目的とすることから、「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」、「義肢装具士学校養成所指定規則」に則った授業科目構成としている。

なお、時代の要請と社会実勢に応じた内容の授業科目と教授方法を取り入れ、1年次から専門教育科目を配置し、「理学療法士」、「義肢装具士」としての誇りや喜びを感じられる教育を行うとともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。初年時から、専門教育科目の修得のための基礎を築き、確固とした基礎学力を基盤に、柔軟な応用力をもった専門職能力を修得し、演習、実習等でグループ学修を多く取り入れ、コミュニケーション能力を高めるとともに能動的な学修習慣を修得する。さらに、専門分野にとどまらない幅広いニーズに対応できる人材の育成を行うための、教育課程を編成している。

イ 教育方法及び履修指導方法の変更内容

収容定員増に際し、教育方法及び履修指導方法については大幅な変更を予定していないが、次の理由から教育の質は担保できると考える。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。理学療法学専攻の講義形式は80人、義肢装具学専攻の講義形式は30人とし、実験・実習形式では、実験・実習室の広さ、施設などの学生の教育効果を十分考慮して必要に応じて理学療法学専攻は理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に則って1グループ40人、義肢装具学専攻は義肢装具士学校養成所指定規則に則って1

グループ 30 人のグループに分けて行う。

チュートリアルなどの演習科目は 6 人～7 人とする。外国語系科目、卒業研究、学外実習科目等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1 年次及び 2 年次では専門教育科目のうち専門基礎分野の科目を中心とし、年次進行に伴い臨地実習、卒業研究に向けて段階的に学修を進める。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後に開かれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA 制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイダンスやシラバス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP 制を導入し、年間履修申請単位数の上限を 48 単位としている。

ウ 教員組織の変更内容

理学療法学専攻の入学定員が 10 名増となるが、以下の理由により教育の質は担保できると考える。

リハビリテーション学科専任教員 39 人（うち教授 15 人）のうち、理学療法学専攻では専門科目を担当する専任教員 15 人（うち教授 6 人）で構成しており、小児領域、循環器領域、整形外科領域、スポーツ医学領域、中枢神経障害領域、基礎医学領域、社会医学領域といった各領域の教員を配置している。また、指定規則に則り、理学療法士養成学校として必要な教員数を教育課程の編成方針を踏まえたうえで、主要分野の授業科目数や単位数に応じて、各教育内容における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置している。

なお、義肢装具学専攻については、既設のリハビリテーション支援学科からの移行である。入学定員の変更もないため、事実上教員組織に変更はない。

(4) 健康科学部（医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科）

ア 医療福祉学科

(ア) 教育課程の変更内容

基礎となる医療福祉学部医療福祉学科から収容定員変更はしない。また、次の教育を行うことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設により、他学部等の教育課程に影響を及ぼすことはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

医療福祉学科の教育目標は、個人の尊厳及び主体性を尊重し、その自己実現と社会参加を促進する社会福祉を探究し、地域住民及び他の専門職と協働できる社会福祉専門職を養成するものである。この教育研究上の目標を達成するための教育課程は、資格取得のための講義や演習、学外実習に留まらず、専門的な学びを深めるために、地域住民や専門機関との連携の中で、専門職に求められる知識や技術について、実践場面での体験を中心とした学修内容を重視している。豊かな人間性を涵養し、高度な専門知識・技能を教授するために、学生の個性や自主性が発揮できるよう配慮することを編成の基本方針とする。

この基本方針を基に、「専門基礎科目」「社会福祉系科目」「精神保健福祉系科目」「介護福祉系科目」「保育福祉系科目」「関連科目」「専門演習」の7科目区分を想定し、各区分で必要となる知識・技能、及び実践力の涵養のための科目群を履修モデルとして設定する。現代における諸課題への対応、健康で文化的な暮らしを送ることができる社会環境の実現、地域社会から広く社会全般に至るまで人々の福祉向上に貢献ができる人材の育成を目標とし、教育課程を編成している。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

基礎となる医療福祉学部医療福祉学科から収容定員変更はしない。次の教育を行なうことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設の影響により、他学部等の教育方法及び履修指導方法の変更が生じることはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。講義形式では100人とし、実験・実習形式では、実験・実習室の広さ、設備など学生の教育効果を十分考慮して必要に応じて社会福祉士に関する科目を定める省令、児童福祉法施行規則、社会福祉士介護福祉士学校指定規則などに則った人数をグループに分けて行う。

チュートリアルなどの演習科目は5人～6人とする。外国語系科目、卒業研究、学外実習科目等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1年次及び2年次では専門教育科目のうち専門基礎分野の科目を中心とし、年次進行に伴い臨地実習、卒業研究に向けて段階的に学修を進める。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後にかかれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイダンスやシラバス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP制を導入し、年間履修申請単位数の上限を48単位としている。

(ウ) 教員組織の変更内容

基礎となる医療福祉学部医療福祉学科から入学定員の変更はないが、専任教員を1人増員するため、教育の質は担保できると考える。

本学科では、ソーシャルワークを基盤として、「社会福祉士」、「精神保健福祉士」、「介護福祉士」、「保育士」として総合的に支援ができる福祉専門職の養成を目指している。多様化する福祉ニーズに対応できる専門職の養成が行えるよう、豊富な教育研究経験をもつ教員で構成しており、専任教員 21 人（うち教授 7 人）を配置し、十分な教育研究体制を整備する。主な保有資格としては社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、保育士、看護師を有する教員を揃えている。本学科では、医療機関や社会福祉施設などで実務の経験のある教員を配置することで、学術面だけでなく実務経験も考慮した教員構成を確保している。

イ 医療経営学科

(ア) 教育課程の変更内容

基礎となる医療経営学部医療経営学科から収容定員変更はしない。また、次の教育を行うことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設により、他学部等の教育課程に影響を及ぼすことはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

医療経営学科では、「医療マインドと高い倫理性を持ちながら、社会的価値を高める経営手法を修得し、広い視野から医療に関わる事業組織の運営に貢献する人材」を養成することを目的に、幅広い教養教育及び導入教育を踏まえ、医療経営学

に関する基礎知識の修得を徹底して行い、そのうえで高度かつ実践的な専門教育を実施する。

医療経営を修得するためには、医療の特殊性を踏まえ、ヒト、モノ、カネ、情報のマネジメントを学修する必要がある。このため、専門教育科目では、経営学・経済学系科目、医療・医学系科目、情報学系科目をバランスよく配置し、多様な専門領域を効果的に学修できるカリキュラムを編成している。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

基礎となる医療経営学部医療経営学科から収容定員変更はしない。次の教育を行なうことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設の影響により、他学部等の教育方法及び履修指導方法の変更が生じることはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。講義形式は90人とし、実験・実習形式では、実験・実習室の広さ、設備など学生の教育効果を十分考慮して、必要に応じて4人～5人のグループに分けて行う。

チュートリアルなどの演習科目は3人～6人とする。外国語系科目、卒業研究、演習科目、実習科目等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1年次及び2年次では専門教育科目のうち専門基礎分野の科目を中心とし、年次進行に伴い演習科目を導入して、特定の専門分野における科学的思考を深める学修を行っていく。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後に開かれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイ

ダンスやシラバス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP 制を導入し、年間履修申請単位数の上限を 48 単位としている。

(ウ) 教員組織の変更内容

基礎となる医療経営学部医療経営学科から入学定員の変更はなく、専任教員数に変更はないが、次の理由から教育の質は担保できると考える。

医療経営学という幅広い教育研究を行うために、経営学、経済学、情報学、医学などを専門とする教員を中心に専任教員 14 人（うち教授 7 人）を配置し、十分な教育研究体制を整備する。教員組織は、主にこれまで医療経営学科での豊富な教育研究経験をもつ教員で構成しており、医師免許を有する教員、医療機関や医療関連企業などで実務の経験のある教員を配置し、学術的側面と実務的側面のバランスに配慮した教員構成を確保する。医療経営学という学際的分野の学科であることもあり、教員間での専門領域は極めて多様である。こうした多様性を活かした共同研究体制も構築しつつあり、基礎と応用、研究と実践というバランスの取れた研究体制も整備している。

ウ 心理学科

(ア) 教育課程の変更内容

収容定員増加に際し、教育課程の変更は予定していないが、次の教育を行うことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設により、他学部等の教育課程に影響を及ぼすことはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

心理学科の教育目標は、「心理学の専門知識とコミュニケーション技術を活かし、自らの立場、状況、対象などの客観的なアセスメントに基づき、課題を見出し、課題の解決のために積極的に行動する人材を養成する。そして、自らを信頼する力を持ち、自らの意志・感情・行動を律することができ（自律）、他者を尊重し、他者のこころを理解することができ（共感）、社会のために他者とともに協力して行動する（協働）力によって、人々のしあわせをマネジメントできる人材を育成する」ことである。

この目標を達成するための教育課程は、従来の講義と学内における演習中心の学びから、更にそれに続けて学外実習までを学びの体系とし、様々な社会現場での体験学習を重視した内容で構成される。また、大学設置基準の大綱化の趣旨に準拠して、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養すること、高度な専門知識・技能を教授するにあたり学際的な分野を取り入れるなどして教育の多様化を図り、学生の個性、自主性を発揮できるよう配慮することを編成の基本方針とする。

この基本方針を基に、心理学を修めた学生のその後の進路として、「臨床心理学専門家」「医療・健康・福祉」「産業・社会」の3分野を想定し、各分野で必要となる知識・技能、及び実践力の涵養のための科目群を履修モデルとして設定する。現代社会が直面する諸課題への対応、人々が健康で上質な暮らしを送ることができる社会環境の実現、地域社会から広く社会全般に至るまで、人々の福祉向上への貢献ができる人材の育成を目標とし、教育課程を編成している。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

本学部の開設の影響により、他学部等の教育方法及び履修指導方法の変更が生じることはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1 クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。講義形式は120人とし、実験・実習形式では、実験・実習室の広さ、設備など学生の教育効果を十分考慮して必要に応じて10人～30人のグループに分けて行

なう。

チュートリアルなどの演習科目は 10 人程度とする。外国語系科目、卒業研究、学外実習等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1 年次では専門教育科目のうち心理学基幹分野の基礎科目を中心とし、年次進行に伴いより専門応用的な科目群を導入する。学びの特徴として、講義科目と学内演習並びに学外実習を段階的に学修していき、その間に Can-do チェックを活用することで、現実の社会現場における実践力の獲得を促す。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後に開かれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA 制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイダンス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP 制を導入し年間履修申請単位数の上限を半期 24 単位、年間で原則 48 単位に設定としている。

(ウ) 教員組織の変更内容

基礎となる心理学部心理学科から入学定員が 10 名増となるが、専任教員を 5 人増員するため、教育の質は担保できると考える。

本学科を構成する専任教員は 18 人であり、心理学系教員、人間工学系教員、人文学系教員で構成されている。心理学系教員は 12 人おり、そのうち 5 人が臨床心理士であり、7 人が基礎・応用心理学系である。このように、臨床心理士有資格者等、専門職業人養成のための多様な心理専門家を配置している。

エ 医療栄養学科

(ア) 教育課程の変更内容

基礎となる医療栄養学部医療栄養学科から収容定員変更はしない。また、次の教育

を行うことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設により、他学部等の教育課程に影響を及ぼすことはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

■全学共通

本学の教育科目は正課カリキュラムとして、専門職業人となるために必要な知識、技術を学ぶ専門教育科目群、及び医療人としての人格形成を行うための教養科目からなるオプション科目群、さらに本学の特色となる全学共通の科目としてスタンダード科目群を設定している。スタンダード科目の中には、健康・医療・福祉系総合大学としての柱となる専門職連携教育や初年次教育のアカデミックリテラシー、チュートリアルなどを配置している。これらすべての科目は科目系統図によって科目間の関係をわかりやすく表記し、それぞれの科目のシラバスではその到達目標と成績評価方法を、カリキュラムマップではディプロマポリシーに対応した保証する分野を明示している。

スタンダード科目、専門教育科目ともに、講義と演習・実習科目を体系的に対応させ、理論と技術が一体となった学習プログラムを配している。

■学科専門科目

医療栄養学科の教育目標は、基本的な医学・薬学の知識をもち、身近な食材・食品の成分や効能を科学的に理解し、さらには摂食嚥下機能にも配慮できる食形態まで対応できる力を備え、それを個々の健康状態にあった献立作成等に活かすとともに、健康・栄養状態の維持・改善を目的とした栄養教育・指導・管理を行うことで『食と栄養の力』でこころとからだを健康にする管理栄養士を養成することである。健康・医療・福祉分野での教育・実習の実績を活かしながら、他学部・他学科あるいは地域社会と連携した独自のカリキュラムを展開することで、医療人として高度で専門的な知識や技能のみならず、高い倫理観を備え豊かな人間性を持った「管理栄養士」の養成を実現することである。

この教育目標を達成するための教育課程は、「管理栄養士」の資格取得につながる学修を主たる目的とすることから、「管理栄養士学校養成指定規則」に基づき授業科目を編成し、医療人たる管理栄養士としての意識を涵養し、質の高い管理栄養士としての学問と技能を修得させ、さらに統合的健康管理のできる管理栄養士の育成と社会をリードする人材の育成を目標として、現代社会が直面する諸課題への対応、人々が健康で上質な暮らしを送ることができる社会環境の実現、地域社会から広く社会全般に至るまで、人々の福祉向上への貢献ができるようにしていくための、教育課程を編成している。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

基礎となる医療栄養学部医療栄養学科から収容定員変更はしない。次の教育を行なうことにより、教育の質は担保できると考える。また、本学部の開設の影響により、他学部等の教育方法及び履修指導方法の変更が生じることはなく、他学部等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

教育方法は、知識の理解や理論的な学修を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態とし、態度、志向性、技能及び技術の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採用する。また、理論的知識を実務に展開・応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験・実習による体験型学習の形態を採り、理解の深化と実践力の育成を図る。

1クラスの学生数は、授業科目ごとの授業形態による教育効果を十分に考慮して決定する。講義形式は60人とし、実験・実習形式では、実験・実習室の広さ、設備など学生の教育効果を考慮して必要に応じて管理栄養士学校指定規則に則り10人～30人のグループに分けて行う。

チュートリアルなどの演習科目は6人～7人とする。外国語系科目、卒業研究、臨地実習等でも積極的に少人数教育を取り入れて教育効果を高める。

各科目の配当年次は、1年次では専門教育科目のうち専門基礎分野の科目を中心とし、年次進行に伴い専門応用分野の科目群を導入して、臨地実習、卒業研究に向けて段階的に学修を進める。

履修指導方法は、入学時オリエンテーションによる学科全体での指導と、その後に開かれるチュートリアルにおける小グループでの指導で行うとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、チュートリアル担当教員等がアカデミック・アドバイザーとなり、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う教職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。上限単位数以内での履修や十分な指導を行って、GPA制度を導入し、教育の質の改善につなげる。

多様化する現代社会の要請に応じて、学生が卒業後の進路を自ら決定し、それぞれに適した科学的理解力と実践能力を身につけられるように、入学時はオリエンテーションによる学科全体での指導により、また、進級後も毎年度当初に開催する履修ガイダンスやシラバス等を通じて学生に履修モデルを提示するなど、個々に対してきめ細やかな履修・進路指導を展開していく。

ただし、本学部においては、学生の時間割の組み立てに余裕を持たせて、自主的な学修時間の確保等を行うことにより高い教育の質を保つことを目的として、CAP制を導入し、年間履修申請単位数の上限を48単位としている。

(ウ) 教員組織の変更内容

基礎となる医療栄養学部医療栄養学科から入学定員の変更はないが、専任教員1人増員するため、教育の質は担保できると考える。

専門的知識・技能及び倫理観を兼ね備え、人々の健康維持・増進、病気の予防・改善を担う管理栄養士を養成するため、管理栄養士、医師、薬剤師などの資格を有する専任教員15人（うち教授10人）にて教員組織を編成する。

配置においては、管理栄養士学校指定規則によるとともに、本学科が目指す「医療人として食と栄養の力で活躍できる人材」を養成できる体制にしている。従来の栄養領域の学問体系の枠にとらわれることなく、また、栄養学領域、医学領域及び薬学領域の連携を図り、学際的な研究を遂行できるような体制を整えている。

以上、上記（1）～（4）に記載したとおり、教育課程、教育方法及び履修指導方法、教員組織は、大学全体の収容定員変更前と比較しても同等以上の教育環境が保たれている。

4. 校舎等施設、設備の変更内容

(1) 校地・運動場

本大学は、広島県内に2キャンパスを有しており、東広島市に「東広島キャンパス」、呉市に「呉キャンパス」を置いている。

校地面積については、東広島キャンパス338,372.98㎡、呉キャンパス71,373.85㎡であり、本大学全体では409,746.83㎡（その他面積含む）となり大学設置基準を大きく上回っている。運動場及び体育施設について、東広島キャンパスには、運動用地が173,172.11㎡あり、多目的グラウンド、陸上競技場、野球場、サッカー場2面、テニスコート4面、体育館、第1練習場（柔道場）、第2練習場（剣道場 兼 空手道場）、弓道場を整備している。また、呉キャンパスは運動用地が16,724.25㎡あり、総合グラウンド（サッカー場、野球場）、体育館（1階はアリーナ、2階は第1練習場〔卓球場〕、第2練習場〔トレーニングルーム〕）、第3練習場（弓道場）、第4練習場（空手道場）を整備している。

また、学生の休息場所として、東広島キャンパスは1号館1階食堂、2号館1階食堂、2階コミュニティールーム、8階自習室があり、呉キャンパスには1号館1階食堂、6号館6階コミュニティールームを整備している。

(2) 図書館

本学では、東広島キャンパス及び呉キャンパスの両キャンパスに図書館を置いており、図書196,681冊（うち外国書30,198冊）、学術雑誌21,265冊（うち外国書9,526

冊)を有している。

東広島キャンパスの図書館は1号館と3号館に配置しており、2館の延べ面積は1,658.81㎡、閲覧座席数365席、視聴覚ブース11箇所、学生用検索端末機18台を設置し、館内では有線LAN、無線LANが使用できる環境となっている。また、貸出用ノート型パソコン14台を用意している。

呉キャンパスの図書館は5号館に配置しており、面積は1962.50㎡、閲覧座席数158席、視聴覚ブース10箇所、検索端末機11台を設置し、館内では有線LAN、無線LANが使用できる環境となっている。また、貸出用ノート型パソコン10台を用意している。

図書館コンピュータシステムにより、全キャンパス図書館の蔵書検索、利用状況問合せ、図書貸出予約などを可能としており、充実した教育・研究が実施できるよう整備している。

また、統合検索システム(Primo)を導入し、大学内(東広島キャンパス・呉キャンパス)からのアクセスであれば、本学が所蔵している図書の検索及び本学で契約している電子ジャーナル・データベース、学術協会等が公開している学術論文、各大学図書館等のリポジトリをキーワードで一括検索でき、学術的に信頼性の高い情報へのアクセスと、学術情報資源を効率よく収集できる環境を調えている。

(3) 校舎等施設

本学では、東広島キャンパス及び呉キャンパスの両キャンパスにおいて、講義室94室、演習室453室、実験実習室277室、情報処理学習施設11室の他、教員研究室、非常勤講師室、図書館、学長室、会議室、保健室、事務室、学生自習室、学生食堂等を有している。

このように、学生の教育環境における校舎の増強などの必要性はなく、現状のままで、収容定員変更前と同等の教育環境を整えていることから、収容定員の変更に伴う施設・設備の変更は行わないが、今後とも必要に応じて施設・設備の充実に努めることとする。

添付資料 目次

1. 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻	1
2. 保健医療学部 救急救命学科	6
3. 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻	11
4. 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 義肢装具学専攻	16
5. 健康科学部 医療福祉学科	21
【参考】健康科学部 医療福祉学科 医療福祉学専攻	30
【参考】健康科学部 医療福祉学科 介護福祉学専攻	36
【参考】健康科学部 医療福祉学科 保育福祉学専攻	42
6. 健康科学部 医療経営学科	48
7. 健康科学部 心理学科	53
8. 健康科学部 医療栄養学科	57

教育課程等の概要 (保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	国際 国際社会の理解	グローバル社会を考えるⅠ	1後・2・3前・後		1		○			1					兼2	オムニバス	
		グローバル社会を考えるⅡ	1後・2・3前・後		1		○								兼2		
		グローバル社会を考えるⅢ	1後・2・3前・後		1		○								兼1		
		小計(3科目)	—	0	3	0	—			1	0	0	0	0	兼5	—	
	学際 人間と思想・文化	思想・文化を考えるⅠ	1後・2・3前・後		1		○								兼2	—	
		思想・文化を考えるⅡ	1後・2・3前・後		1		○								兼1		
		小計(2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼3		
	人間と現代社会	現代社会を考えるⅠ	1後・2・3前・後		1		○								兼1	—	
		現代社会を考えるⅡ	1後・2・3前・後		1		○								兼1		
		小計(2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼2		
	人間と科学・技術	科学・技術と人間生活Ⅰ	1後・2・3前・後		1		○								兼1	—	
		科学・技術と人間生活Ⅱ	1後・2・3前・後		1		○								兼1		
		小計(2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼2		
	基礎教育科目	共通基礎 人文科学	哲学	1・2前・後		2		○								兼1	—
			文学	1・2前・後		2		○								兼1	
			心理学	1・2前・後		2		○								兼2	
			日本語表現法	1・2前・後		2		○								兼1	
			芸術学	1・2前・後		2		○								兼1	
文化人類学			1・2前・後		2		○								兼1		
コミュニケーション論			1・2前・後		2		○								兼1		
小計(7科目)		—	0	14	0	—			0	0	0	0	0	兼7			
社会科学		法学	1・2前・後		2		○								兼1	—	
		経済学	1・2前・後		2		○								兼1		
		歴史学	1・2前・後		2		○								兼1		
		政治学	1・2前・後		2		○								兼1		
		教育学	1・2前・後		2		○								兼1		
小計(5科目)		—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	兼5			
自然科学	統計学	1・2前・後		2		○								兼3	—		
	数学基礎	1前		1		○								兼2			
	数学	1・2前・後		2		○								兼2			
	物理学	1・2前・後		2		○				1							
	物理学実験	1・2前・後		1								○		兼2 共同			
	化学	1・2前・後		2		○								兼1			
	化学実験	1・2前・後		1								○		兼3 共同			
	生物学	1・2前・後		2		○								兼2			
	生物学実験	1・2前・後		1						1	2	1		共同			
小計(9科目)	—	0	14	0	—			1	1	2	1	0	兼11				
情報処理	情報基礎演習	1前	1				○							兼5 共同	—		
	情報倫理・応用演習	1前・後	1				○				1			兼6 共同			
	情報統計演習	1・2前・後		1			○			1				兼5 共同			
	情報管理演習	1・2前・後		1			○			1				兼5 共同			
	情報発展演習	1・2前・後		1			○			1				兼5 共同			
	小計(5科目)	—	2	3	0	—			0	1	1	0	0	兼7			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育科目	英語 I a	1前	1			○				1					兼4	
	英語 I b	1後	1			○				1					兼4	
	英語 II a	1前	1			○									兼5	
	英語 II b	1後	1			○									兼5	
	英語 III a	2前		1		○									兼3	
	英語 III b	2後		1		○									兼3	
	英語 IV	2・3・4前・後		1		○									兼3	
	検定英語	2・3・4前・後		1		○				1					兼2	
	ドイツ語 a	1前		1		○									兼1	
	ドイツ語 b	1後		1		○									兼1	
	中国語 a	1前		1		○									兼2	
	中国語 b	1後		1		○									兼2	
	韓国語 a	1前		1		○									兼2	
	韓国語 b	1後		1		○									兼2	
小計(14科目)	—	—	4	10	0	—	—	—	0	1	0	0	0	兼16	—	
保健体育	スポーツ I	1前・後	1			○				1					兼1 共同	
	スポーツ II	1前・後		1				○		3					兼1 共同	
	スポーツ III	1前・後		1				○		3					兼1 共同	
小計(3科目)	—	1	2	0	—	—	—	0	3	0	0	0	兼1	—		
キャリア教育	Global Communication	2・3前・後		2		○									兼3	
	小計(1科目)	—	0	2	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼3	—	
留学生特例科目																
基礎教育科目	共通基礎	社会科学	日本事情 I	1前		2			○							兼1
			日本事情 II	1後		2			○							兼1
	小計(2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼1	—	
	外国語	日本語 I a	1前		1				○							兼1
		日本語 I b	1後		1				○							兼1
日本語 II a		2前		1				○							兼1	
日本語 II b	2後		1				○							兼1		
小計(4科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—	
共通教育科目 合計(59科目)			—	7	72	0	—	—	2	5	3	1	0	兼42	—	
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1					○							兼7 共同	
	チュートリアル	1前	1					○		5	2	6				
	専門職連携基礎演習 I	1前・後	1					○			1	1	1		共同	
	専門職連携基礎演習 II	1前・後	1					○			1	2			兼2 共同	
	専門職連携総合演習 I	2・3前・後		1				○							兼9 共同	
	専門職連携総合演習 II	3・4前・後		1				○		2		2			兼2 共同	
	防災・危機管理学	1・2前・後		1				○							兼3 オムニバス	
	地域創生論	1・2前・後		1				○							兼4 共同	
小計(8科目)	—	4	4	0	—	—	—	6	2	8	1	0	兼24	—		
スタンダード科目 合計(8科目)			—	4	4	0	—	—	6	2	8	1	0	兼24	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎分野	医療技術学基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○				4				共同	
	医療技術学基礎演習Ⅱ	2前・後	1				○				4				共同	
	早期体験演習	1前・後	1				○		4		4				共同	
	生命倫理	1前・後	2			○			2		4				共同	
	医療英語	2前・後		2		○			1							
	小計（5科目）	—	5	2	0	—			5	0	4	0	0	0	—	
	人体の構造と機能	人体構造学	1前・後	2			○			1						共同
		人体構造学実習	1前・後	1					○	1		3				共同
		人体生理機能学	1前・後	2			○			1						共同
		人体生理機能学実習	2前・後	1					○	1		2	1			共同
		生化学	1前・後	2			○					1				
	小計（5科目）	—	8	0	0	—			2	0	3	1	0	0	—	
	医学概論と関連疾病の基礎	医学概論	1前・後	1			○			1						
		病理学	2前・後	2			○			1						
		小計（2科目）	—	3	0	0	—			2	0	0	0	0	—	
	保健医療福祉と関係法規	関係法規Ⅱ	2前・後	1			○			1						
		公衆衛生学	1前・後	2			○			1						
		健康食品学	2前・後		2		○					1				
		食品衛生学	2前・後		2		○					1				
		小計（4科目）	—	3	4	0	—			1	0	1	0	0	0	—
医療工学及び情報科学	医用工学概論	1前・後	2			○			1	1					オムニバス	
	医用工学概論実習	2前・後	1					○	1	1		1			共同	
	情報科学概論	2前・後	2			○			1							
	小計（3科目）	—	5	0	0	—			2	1	0	1	0	0	—	
専門分野	臨床病態学	臨床病態学Ⅰ	2前・後	2			○			1						
		臨床病態学Ⅱ	2前・後	2			○			1						
		小計（2科目）	—	4	0	0	—			1	0	0	0	0	—	
	形態検査学	病理組織細胞学	2前・後	2			○			1						
		病理組織細胞学演習	2前・後	1				○		1						共同
		病理組織細胞学実習	2前・後	1					○	1		2				共同
		臨床血液学	3前・後	2			○					1				
		臨床血液学演習	3前・後	1				○				1				
		臨床血液学実習	3前・後	1					○	1		2			兼1	共同
		臨床細胞診断学	3前・後	2			○			1						
	小計（7科目）	—	10	0	0	—			2	0	4	0	0	兼1	—	
	生物化学分析検査学	臨床検査総論Ⅰ	1前・後	2			○			1						
		臨床検査総論実習Ⅰ	2前・後	1					○	2		1			兼1	共同
臨床化学		2・3前・後	2			○					1					
臨床化学演習		2・3前・後	1				○				1					
臨床化学実習		2・3前・後	1					○			2				共同	
放射性同位元素検査技術学		3前・後	2			○					1					
遺伝子・染色体検査学演習・実習		3前・後	2				○	○			1					
バイオテクノロジー演習		2前・後		1			○		1							
小計（8科目）	—	11	1	0	—			3	0	3	0	0	兼1	—		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門分野	病 因・ 生 体 防 御 検 査 学	臨床微生物学	2前・後	2			○			1						兼1 共同 オムニバス 共同 共同
		臨床微生物学演習	2前・後	1				○				1				
		臨床微生物学実習	2前・後	1					○		1					
		臨床免疫学	3前・後	2			○			1		1				
		臨床免疫学演習	3前・後	1				○		1		1				
		臨床免疫学実習	3前・後	1					○	1		1				
		移植・輸血検査学	3前・後	2			○			1						
		感染制御学	3前・後	2			○			1						
	小計（8科目）	—	—	12	0	0	—	—	—	2	0	1	0	0	兼1	—
	生 理 機 能 検 査 学	臨床生理学	3前・後	2			○					1				兼1 共同 兼1
		臨床生理学演習	3前・後	1				○				1				
		臨床生理学実習	3前・後	1					○	1		2				
		医用画像工学	3前・後		2		○									
	小計（4科目）	—	—	4	2	0	—	—	—	1	0	2	0	0	兼2	—
検 査 総 合 管 理 学	臨床検査総論Ⅱ	2前・後	2			○			1						兼1 共同 共同	
	臨床検査総論実習Ⅱ	3前・後	1					○	2		1					
	検査総合管理学	3前・後	2			○			1		1					
小計（3科目）	—	—	5	0	0	—	—	—	2	0	2	0	0	兼1	—	
医 療 安 全 管 理 学	医療安全管理学	2前・後	1			○			1		1				共同	
	医療安全管理学実習	2前・後	1					○	1		1					
小計（2科目）	—	—	2	0	0	—	—	—	1	0	1	0	0	0	—	
臨 床 実 習	臨床検査学実習	4前・後	6					○	4		4				0 —	
	国際臨床検査学	2・3前・後		1				○			2					
	小計（2科目）	—	—	6	1	0	—	—	—	4	0	4	0	0		0
卒 業 研 究	卒業研究方法論	3前・後	2				○		4		4				0 —	
	卒業研究	4前・後	2				○		4		4					
	小計（2科目）	—	—	4	0	0	—	—	—	4	0	4	0	0		0
専 門 総 合 分 野	総 合 技 術	臨床検査学演習Ⅰ	3前・後	1			○		4		4				0 —	
		臨床検査学演習Ⅱ	3前・後	1				○	4		4					
		臨床検査学演習Ⅲ	4前・後	1				○	4		4					
		形態・生理機能検査学総合演習	4前・後	1				○	2		1					
		生物化学分析検査学総合演習	4前・後	1				○			2					
		生体防御検査学総合演習	4前・後	1				○	2		1					
	小計（6科目）	—	—	6	0	0	—	—	—	4	0	4	0	0		0
臨 床 工 学 ・ 救 急 救 命 学 分 野	薬理学	3前・後		2		○								兼1	兼1 オムニバス 共同	
	看護学概論	3前・後		2		○			1							
	基礎数学演習	1前・後		1			○				1					
	基礎物理学演習	1前・後		1			○				1					
	応用数学	2前・後		2		○					1					
	医工学概論	1前・後		2		○					1					
	電気工学	1前・後		2		○					1					
	電気工学実習	2前・後		1				○	1	1	1					
	電子工学	2前・後		2		○					1					
	電子工学実習	2前・後		1				○	1	1	1					
	物性工学	2前・後		2		○					1					
	機械工学	3前・後		2		○			1							
	材料工学	3前・後		2		○							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
臨床工学・救急救命学分野	計測工学	2前・後		2		○			1								
	医用機器学概論	3前・後		2		○					1						
	生体機能代行技術学概論	2前・後		2		○					2	1				オムニバス	
	体外循環技術学	3前・後		2		○					1						
	呼吸療法技術学	3前・後		2		○					1						
	血液浄化技術学	3前・後		2		○			1			1				オムニバス	
	不整脈治療技術学演習	3前・後		1			○				1						
	生体機能代行技術学実習	3前・後		3				○			2	1					共同
	医用治療機器学	2前・後		2		○					1						
	医用機器学実習	2前・後		1				○	1		2	1					共同
	生体計測技術学	2前・後		2		○			1								
	生体計測技術学実習	3前・後		1				○	1		2	1					共同
	機器安全管理学	2前・後		2		○			1								
	機器安全管理学実習	3前・後		1				○	1		2	1					共同
	臨床医学総論Ⅰ	2前・後		2		○			1								
	臨床医学総論Ⅱ	3前・後		2		○			1								
	臨床医学総論Ⅲ	3前・後		2		○			1								
	関係法規Ⅰ	1前・後		1		○			1								
	臨床工学実習	4前・後		4				○	1	1	2	1					兼4 共同
	救急救命処置演習・実習Ⅰ	1前・後		2				○	1	1							兼4 共同
救急救命処置演習・実習Ⅱ	1前・後		2				○	1	1	1						兼4 共同	
救急医学総論	1前・後		2			○				1							
小計（35科目）		—	0	64	0	—	—	—	4	3	4	1	0	兼6	—		
専門教育科目 合計（98科目）		—	88	74	0	—	—	—	8	3	8	1	0	兼11	—		
合計（165科目）		—	99	150	0	—	—	—	8	8	9	1	0	兼66	—		
学位又は称号	学士（臨床検査学）	学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）												
卒業要件及び履修方法					授業期間等												
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、共通教育科目必修科目7単位、共通教育科目選択科目11単位、スタンダード科目必修科目4単位、スタンダード科目選択科目2単位、専門教育科目必修科目88単位、専門教育科目選択科目12単位を修得し、合計124単位以上を修得すること。 【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。 【履修方法】 ○ 共通教育科目 必修科目：7単位（『基礎教育科目』のうち、「情報処理」2単位、「外国語」4単位、「保健体育」1単位） 選択科目：11単位（『教養科目』のうち、「国際」1単位、「学際」2単位、『基礎教育科目』のうち、「共通基礎」自然科学4単位、「保健体育」1単位のほか、選択科目から3単位以上） （小計） 18単位以上 ○ スタンダード科目 必修科目：4単位 選択科目：2単位以上 （小計） 6単位以上 ○ 専門教育科目 必修科目：88単位（『専門基礎分野』24単位、『専門分野』58単位、『専門総合分野』6単位） 選択科目 12単位以上 （小計） 100単位以上 （合計） 124単位以上					1学年の学期区分		2学期										
					1学期の授業期間		15週										
					1時限の授業時間		90分										

教育課程等の概要																
(保健医療学部 救急救命学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1				○							兼3	オムニバス	
	チュートリアル	1前	1				○		4	2	2					
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○				1					
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				○				1					
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				○			1						
	地域創生と危機管理	1前・後	1			○				2	1				兼4	オムニバス・共同(一部)
	デジタルコミュニケーション	1前	1				○								兼2	共同
	データサイエンスⅠ	1後	1				○								兼2	共同
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1				○								兼5	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1				○								兼5	
	英語リーディングⅠ	1前	1				○								兼5	
	英語リーディングⅡ	1後	1				○								兼5	
	スポーツ学	1前・後	1			○									兼1	
スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1					○							兼8	共同	
小計 (15科目)		—	15	0	0		—		3	2	2	0	0	兼25	—	
スタンダード科目 合計 (15科目)		—	15	0	0		—		3	2	2	0	0	兼25	—	
オプション科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	1			○								兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後	1			○								兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後	1			○								兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後	1			○								兼1	
		小計 (4科目)	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後	1				○							兼2	共同
		小計 (1科目)	—	0	1	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後	2			○								兼1	
		文学	1・2・3前・後	2			○								兼1	
		心理学	1・2・3前・後	2			○								兼1	
		芸術学	1・2・3前・後	2			○								兼1	
		文化人類学	1・2・3前・後	2			○								兼1	
	小計 (5科目)	—	0	10	0		—		0	0	0	0	0	兼5	—	
	人間と社会	法学	1・2・3前・後	2			○								兼1	
経済学		1・2・3前・後	2			○								兼1		
歴史学		1・2・3前・後	2			○								兼1		
政治学		1・2・3前・後	2			○								兼1		
小計 (4科目)	—	0	8	0		—		0	0	0	0	0	兼4	—		
人間と自然	統計学	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	数学基礎	1・2・3前・後	1			○								兼1		
	数学	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	物理学	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	化学	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	生物学	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	科学実験a	1・2・3前・後	1					○						兼3	共同	
	科学実験b	1・2・3前・後	1					○						兼4	共同	
	小計 (8科目)	—	2	11	0		—		0	0	0	0	0	兼8	—	
総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	コミュニケーション論	1・2・3前・後	2			○								兼1		
	小計 (2科目)	—	4	0	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
オプション科目 アドバンスド)	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後	1				○								兼1	
		英語プレゼンテーション	2・3前・後	1				○								兼1	
		検定英語	2・3前・後	1				○								兼1	
		グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1			○									兼3	
	小計 (5科目)		—	0	5	0		—		0	0	0	0	0	0	兼7	—
	情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後	1					○							兼2	共同
		データ解析	1・2・3前・後	1					○							兼2	共同
		プログラミングⅡ	1・2・3前・後	1					○							兼2	共同
		小計 (3科目)		—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	0	兼3
	育保 健体	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後	1						○						兼8	
		小計 (1科目)		—	0	1	0		—		0	0	0	0	0	0	兼8
	化人 間と 文	人間と文化a	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		人間と文化b	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		小計 (2科目)		—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2
	会人 間と 社	人間と社会a	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		人間と社会b	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		小計 (2科目)		—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2
	然人 間と 自	人間と自然a	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		人間と自然b	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		小計 (2科目)		—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2
	総合	教養ゼミ	1・2・3前・後	1					○							兼8	
		小計 (1科目)		—	0	1	0		—		0	0	0	0	0	0	兼8
	オプション	留学生特例科目															
会人 間と 社		日本事情a	1・2・3前・後	2			○									兼1	
		日本事情b	1・2・3前・後	2			○									兼1	
		小計 (2科目)		—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	0	兼1
ルグ ロー バ		日本語Ⅰ	1・2・3前・後	2			○									兼1	
		日本語Ⅱ	1・2・3前・後	2			○									兼1	
	小計 (2科目)		—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	0	兼1	—
オプション科目 合計 (44科目)			—	6	58	0		—		0	0	0	0	0	0	兼34	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎分野	科学的思考の基盤	自然災害防災論	2前・後	2			○									オムニバス	
		救急実務英語	2前・後	1			○									兼1 集中	
		ライフサイエンス論Ⅰ	1前・後	1			○									兼1	
		ライフサイエンス論Ⅱ	1前・後	1			○									兼1	
		救急統計学	3前・後	2			○			1							
	小計 (5科目)	—	5	2	0				1	1	1	0	0	兼2	—		
活人間生と		ビジネスマナー論	3前・後	1			○			3	2	2				オムニバス	
		小計 (1科目)	—	1	0	0				3	2	2	0	0	0	—	
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体構造生理学Ⅰ	1前・後	2			○			0						兼1	
		人体構造生理学Ⅱ	1前・後	2			○			0						兼1	
		人体構造生理学実習	1前・後	1					○	0	1					兼1 共同	
		小計 (3科目)	—	5	0	0				0	1	0	0	0	兼1	—	
		の疾患の成り立ちと回復	病理学	病理学	2前・後	1			○			1					
生化学	1前・後			1			○									兼1	
薬理学	3前・後			1			○			1							
救急検査概論	3前・後			1			○			1						兼4 集中/オムニバス	
小計 (4科目)	—			4	0	0				1	0	0	0	0	兼4	—	
障社会保と		公衆衛生学	1前・後	2			○				1						
		小計 (1科目)	—	2	0	0				0	1	0	0	0	0	—	
専門分野	救急医学概論	生命倫理	1前・後	2			○				1	1				オムニバス	
		病院前救急医療概論	1前・後	1			○			2						オムニバス	
		救急災害システム論	2前・後	2			○				1						
		救急関係法規	2前・後	1			○				1						
		救急救命処置概論	1前・後	2			○				1						
		災害・救護ボランティア演習	2前・後	1				○				1					
		小計 (6科目)	—	9	0	0				2	2	2	0	0	0	—	
	救急症候・病態生理学	救急症候・病態生理学	救急症候・病態生理学Ⅰ	2前・後	2			○			1						
			救急症候・病態生理学Ⅱ	2前・後	2			○			1						
			臨床病態学Ⅰ	2前・後	2			○			1						
			臨床病態学Ⅱ	2前・後	2			○			1						
			小計 (4科目)	—	8	0	0				1	0	0	0	0	0	—
	疾病救急医学	救急現場活動学	救急現場活動学	2前・後	2			○			1						
特定行為処置論			3前	2			○			1							
小児科学			2前・後	2			○									兼1	
産婦人科学			2前・後	1			○									兼1	
精神医学			3前・後	1			○									兼1	
小計 (5科目)			—	8	0	0				2	0	0	0	0	兼3	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門分野	外傷救急医学	外傷救急医学Ⅰ	2前・後	2			○			1						
		外傷救急医学Ⅱ	2前・後	2			○			1						
		小計(2科目)	—	4	0	0	—			1	0	0	0	0	0	—
	環境 医学性	環境障害・急性中毒学	3前・後	1			○			1						
		小計(1科目)	—	1	0	0	—			1	0	0	0	0	0	—
	臨地 実習	救急救命処置実習Ⅰ	1前・後	2					○	1	1				兼5	共同
		救急救命処置実習Ⅱ	1前・後	2					○		1	1			兼5	共同
		救急救命処置実習Ⅲ	2前・後	3					○		1	1			兼5	共同
		救急救命処置実習Ⅳ	2前・後	3					○	2					兼5	共同
		救急救命高度実習Ⅰ	3前・後	2					○	2	2	1			兼2	共同
		救急救命高度実習Ⅱ	3前・後	2					○	2		1			兼2	共同
		救急救命総合実習	4前・後		2				○	1		1			兼2	共同
		応急手当実習Ⅰ	2前・後	1					○			1				
		応急手当実習Ⅱ	2前・後	1					○			1				
		救急システム実習Ⅰ	1前・後	1					○			1				
救急システム実習Ⅱ		1前・後	1					○			1					
救急システム実習Ⅲ		3前・後	1					○	3	2	2				共同	
救急システム実習Ⅳ	3前・後	6					○	4	2	2				共同		
国内救急救命事情	2前・後		1				○	1		1				共同		
国際救急救命学	2前・後		1				○	1		1				共同		
小計(15科目)	—	25	4	0	—			4	2	2	0	0	兼5	—		
卒業 研究	卒業研究Ⅰ	3前・後	2					○	4	2	2					
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2					○	4	2	2					
	小計(2科目)	—	4	0	0	—			4	2	2	0	0	0	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門総合分野	総合技術	救急救命学Ⅰ	3前・後	2			○			2	1	2				オムニバス
		救急救命学Ⅱ	3前・後	2			○			2	1	2				オムニバス
		救急救命学Ⅲ	4前・後		2		○			2	2	2				オムニバス
		救急救命学Ⅳ	4前・後		2		○			2	2	2				オムニバス
		救急救命総合学	4前・後		2		○			3	2	2				オムニバス
		教養総合学Ⅰ	2前・後	2			○			1						
		教養総合学Ⅱ	2前・後	2			○			1						
		教養総合学Ⅲ	3前・後	2			○			1						
		教養総合学Ⅳ	3前・後	2			○			1						
		教養総合学Ⅴ	4前・後	2			○			1						
		小計(10科目)		—	14	6	0	—			4	2	2	0	0	0
専門教育科目 合計(59科目)		—	90	12	0	—			4	2	2	0	0	0	兼15	—
救急救命学科 合計(118科目)		—	111	70	0	—			4	2	2	0	0	0	兼57	—
学位又は称号	学士(救急救命学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)										
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。								1学年の学期区分				2学期				
								1学期の授業期間				15週				
								1時限の授業時間				90分				
【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。																
【履修方法】																
○スタンダード科目 必修科目：15単位 ----- (小計) 15単位																
○オプション科目 必修科目：6単位 選択科目：4単位 ----- (小計) 10単位以上																
○専門教育科目 必修科目：90単位 選択必修科目：1単位 ----- (小計) 91単位 (『臨地実習』の「国内救急救命事情」または、「国際救急救命学」の2科目のうちいずれか1科目1単位)																
○その他 選択科目：8単位 ----- (小計) 8単位以上 (所属学科の専門教育科目、オプション科目、他学科の専門教育科目含む)																
(合計) 124単位以上																

教 育 課 程 等 の 概 要
(総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
共通 教育 科目	国際 国際社会の理解	グローバル社会を考えるⅠ	1後・2・3前・後		1		○									兼3	オムニバス	
		グローバル社会を考えるⅡ	1後・2・3前・後		1		○									兼1		
		グローバル社会を考えるⅢ	1後・2・3前・後		1		○									兼1		
		小計(3科目)	—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	0	兼5	—	
	学際 人間と思想・文化	思想・文化を考えるⅠ	1後・2・3前・後		1		○										兼1	—
		思想・文化を考えるⅡ	1後・2・3前・後		1		○										兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2		
	人間と現代社会	現代社会を考えるⅠ	1後・2・3前・後		1		○										兼1	—
		現代社会を考えるⅡ	1後・2・3前・後		1		○										兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2		
	人間と科学技術	科学・技術と人間生活Ⅰ	1後・2・3前・後		1		○										兼1	—
		科学・技術と人間生活Ⅱ	1後・2・3前・後		1		○										兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2		
	基礎 教育 科目	共通 基礎 人文科学	哲学	1・2前・後		2		○										兼1
			文学	1・2前・後		2		○										兼1
心理学			1・2前・後		2		○										兼1	
日本語表現法			1・2前・後		2		○										兼1	
芸術学			1・2前・後		2		○										兼1	
文化人類学			1・2前・後		2		○										兼1	
コミュニケーション論			1・2前・後		2		○										兼1	
		小計(7科目)	—	0	14	0		—		0	0	0	0	0	0	兼6	—	
社会科学		法学	1・2前・後		2		○											兼1
		経済学	1・2前・後		2		○											兼1
		歴史学	1・2前・後		2		○											兼1
		政治学	1・2前・後		2		○											兼1
		教育学	1・2前・後		2		○											兼1
		小計(5科目)	—	0	10	0		—		0	0	0	0	0	0	0	兼5	—
自然科学		統計学	1・2前・後		2		○											兼1
		数学基礎	1前		1		○											兼1
		数学	1・2前・後		2		○											兼1
		物理学	1・2前・後		2		○											兼1
		物理学実験	1・2前・後		1						○							兼2 共同
		化学	1・2前・後		2		○											兼1
		化学実験	1・2前・後		1						○							兼3 共同
		生物学	1・2前・後		2		○											兼1
		生物学実験	1・2前・後		1						○							兼4 共同
		小計(9科目)	—	0	14	0		—		0	0	0	0	0	0	0	兼11	—
情報 処理		情報基礎演習	1前		1			○										兼6 共同
	情報倫理・応用演習	1前・後		1			○										兼6 共同	
	情報統計演習	1・2前・後		1			○										兼2 共同	
	情報管理演習	1・2前・後		1			○										兼2 共同	
	情報発展演習	1・2前・後		1			○										兼2 共同	
	小計(5科目)	—	2	3	0		—		0	0	0	0	0	0	0	兼6	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	外国語	英語Ⅰa	1前	1		○									兼6	
		英語Ⅰb	1後	1		○									兼6	
		英語Ⅱa	1前	1		○									兼6	
		英語Ⅱb	1後	1		○									兼6	
		英語Ⅲa	2前		1	○									兼1	
		英語Ⅲb	2後		1	○									兼1	
		英語Ⅳ	2・3・4前・後		1	○									兼1	
		検定英語	2・3・4前・後		1	○									兼1	
		ドイツ語a	1前		1	○									兼1	
		ドイツ語b	1後		1	○									兼1	
		中国語a	1前		1	○									兼1	
		中国語b	1後		1	○									兼1	
		韓国語a	1前		1	○									兼1	
		韓国語b	1後		1	○									兼1	
	小計(14科目)	—	4	10	0	—			0	0	0	0	0	兼12	—	
	保健体育	スポーツⅠ	1前・後	1			○								兼1	
		スポーツⅡ	1前・後		1					○					兼4	共同
		スポーツⅢ	1前・後		1					○					兼4	共同
		小計(3科目)	—	1	2	0	—		0	0	0	0	0	兼4	—	
アキ教育	Global Communication	2・3前・後		2		○								兼1		
	小計(1科目)	—	0	2	0	—		0	0	0	0	0	兼1	—		
留学生特例科目																
基礎教育科目	共通基礎	社会科学	日本事情Ⅰ	1前		2		○							兼1	
			日本事情Ⅱ	1後		2		○							兼1	
			小計(2科目)	—	0	4	0	—		0	0	0	0	0	兼1	—
	外国語	日本語Ⅰa	1前		1		○								兼1	
		日本語Ⅰb	1後		1		○								兼1	
		日本語Ⅱa	2前		1		○								兼1	
		日本語Ⅱb	2後		1		○								兼1	
	小計(4科目)	—	0	4	0	—		0	0	0	0	0	0	兼1	—	
共通教育科目 合計(59科目)			—	7	72	0	—		0	0	0	0	0	兼45	—	
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1				○							兼9	共同	
	チュートリアル	1前	1				○		5	2	4			兼1		
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○		3		1			共同		
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				○		1		1			兼2	共同	
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3前・後		1			○		2	1	3			兼3	共同	
	専門職連携総合演習Ⅱ	3・4前・後		1			○							兼7	共同	
	防災・危機管理学	1・2前・後		1			○							兼3	オムニバス	
	地域創生論	1・2前・後		1			○							兼4	共同	
小計(8科目)	—	4	4	0	—		8	3	7	0	0	0	兼26	—		
スタンダード科目 合計(8科目)			—	4	4	0	—	8	3	7	0	0	0	兼26	—	

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	専門基礎分野	人体の構造と機能および心身の発達	解剖学Ⅰ	1前・後	2			○			1					兼1 共同 兼2 共同 共同 オムニバス オムニバス		
			解剖学Ⅱ	1前・後	2			○			1							
			解剖学実習	1前・後	1					○	3		1					
			生理学Ⅰ	1前・後	2			○			1							
			生理学Ⅱ	2前・後	2			○			1							
			生理学実習	2前・後	1					○	2							
			運動学	1前・後	2			○			1							
			運動学実習	2前・後	1					○	1		1					
			機能解剖学	2前・後		2		○			1		1	1				
			人間発達学	1前・後	2			○				1	2					
小計(10科目)			—	15	2	0	—			4	1	3	1	0	兼2	—		
促進病と傷害の成り立ちおよび回復過程の	医学概論	医学概論	1前・後	2			○			3					兼1 オムニバス			
		内科学Ⅰ	2前・後	1			○			1								
		内科学Ⅱ	2前・後	1			○			1								
		整形外科Ⅰ	2前・後	1			○			1								
		整形外科Ⅱ	2前・後	1			○			1								
		精神医学	2前・後	2			○			1								
		脳神経学Ⅰ	2前・後	1			○			1								
		脳神経学Ⅱ	2前・後	1			○			1								
		発達障害学	2前・後	2			○				1	1						
		小計(9科目)			—	12	0	0	—			4	1	1		0	0	0
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	リハビリテーション概論	1前・後	2			○			1					—			
		生命倫理	1前・後	2			○			1								
		リハビリテーション心理学	1前・後		2		○			1								
		加齢医学	3前・後		2		○			1								
		小計(4科目)			—	4	4	0	—			3	0	0		0	0	0
専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	1前・後	2			○				1				共同			
		理学療法研究法	3前・後	2			○			1								
		理学療法管理運営学	3前・後	2			○					1						
		小計(3科目)			—	6	0	0	—			1	1	1		0	0	0
	理学療法評価学	運動系機能能力評価学Ⅰ	2前・後	1			○						1					
		運動系機能能力評価学実習Ⅰ	2前・後	1					○					2				
		運動系機能能力評価学Ⅱ	2前・後	1			○				1							
		運動系機能能力評価学実習Ⅱ	2前・後	1					○			1	2					
		神経系機能能力評価学	2前・後	1			○				1							
		内部系機能能力評価学	2前・後	1			○				1							
生活支援系評価学	2前・後	1			○						1							
小計(7科目)			—	7	0	0	—			0	2	4	0	0	0	—		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門教育科目	専門分野	理学療法治療学	徒手療法学	3前・後		2		○			1									
			運動療法学	3前・後	2			○			1									
			物理療法学	2前・後	1				○			1								
			物理療法学実習	2前・後	1						○	1		1					兼1 共同	
			義肢装具学Ⅰ	3前・後	1				○										兼2 共同	
			義肢装具学Ⅱ	3前・後	1				○										兼1	
			内部障害理学療法治療学	3前・後	1				○				1							
			内部障害理学療法治療学実習	3前・後	1						○	1		1						共同
			運動器理学療法治療学	3前・後	1				○				1							
			運動器理学療法治療学実習	3前・後	1						○	1	1		1					共同
			スポーツ外傷治療学	3前・後	1				○			1								
			スポーツ外傷治療学演習	3前・後	1						○	1		1						
			発達障害理学療法学	3前・後	1				○					1						
			中枢神経系理学療法治療学Ⅰ	3前・後	1				○					1						
			中枢神経系理学療法治療学Ⅱ	3前・後	1				○					1						
			中枢神経系理学療法治療学実習	3前・後	1						○			1						兼1 共同
			生活支援系理学療法治療学	3前・後	1				○					1						
			生活支援系理学療法治療学実習	3前・後	1						○		1	2						共同
			臨床運動学	3前・後	1				○			1								
			臨床運動学実習	3前・後	1						○	1		2						共同
			臨床理学療法演習	3前・後	1					○		1		2						共同
小計(21科目)			—	21	2	0	—			3	2	4	1	0	兼3	—				
地域理学療法学	地域理学療法学	2前・後	1				○			1										
	地域在宅理学療法学演習	3前・後	1						○	1		1					共同			
	ヘルスプロモーション論	2前・後		2			○										兼1			
	公衆衛生学	1前・後	1				○										兼1			
小計(4科目)			—	3	2	0	—			1	0	1	0	0	兼2	—				
臨床実習	臨床体験実習	1前・後	1						○	5	2	4					兼1			
	検査測定実習	2前・後	1						○	5	2	4					兼1			
	臨床評価実習	3前・後	2						○	6	2	4					兼2			
	総合臨床実習	4前・後	14						○	5	2	4	1							
小計(4科目)			—	18	0	0	—			6	2	4	1	0	兼2	—				
卒業研究			4前・後	4				○		5	2	4								
小計(1科目)			—	4	0	0	—			5	2	4	0	0	0	—				

教育課程等の概要																
(総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 義肢装具学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	国際	グローバル社会を考えるⅠ	1後・2・3前・後	1			○								兼3 オムニバス	
		グローバル社会を考えるⅡ	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
		グローバル社会を考えるⅢ	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
		小計(3科目)	—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	兼5	—
	学際	人間と思想・文化	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
		思想・文化を考えるⅡ	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
		人間と現代社会	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
	人間と現代社会	現代社会を考えるⅡ	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
		小計(2科目)	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
		人間と科学・技術	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
		科学・技術と人間生活Ⅱ	1後・2・3前・後	1			○								兼1	
	人間と科学・技術	小計(2科目)	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
		共通基礎	哲学	1・2前・後	2			○								兼1
			文学	1・2前・後	2			○								兼1
			心理学	1・2前・後	2			○								兼1
	日本語表現法		1・2前・後	2			○								兼1	
	芸術学		1・2前・後	2			○								兼1	
	文化人類学		1・2前・後	2			○								兼1	
	コミュニケーション論		1・2前・後	2			○								兼1	
小計(7科目)	—		0	14	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—	
社会科学	法学	1・2前・後	2			○								兼1		
	経済学	1・2前・後	2			○								兼1		
	歴史学	1・2前・後	2			○								兼1		
	政治学	1・2前・後	2			○								兼1		
	教育学	1・2前・後	2			○								兼1		
	小計(5科目)	—	0	10	0		—		0	0	0	0	0	兼5	—	
自然科学	統計学	1・2前・後	2			○								兼1		
	数学基礎	1前	1			○				1				兼1		
	数学	1・2前・後	2			○								兼1		
	物理学	1・2前・後	2			○								兼1		
	物理学実験	1・2前・後	1								○			兼2 共同		
	化学	1・2前・後	2			○								兼1		
	化学実験	1・2前・後	1									○		兼3 共同		
	生物学	1・2前・後	2			○								兼1		
	生物学実験	1・2前・後	1										○	兼4 共同		
	小計(9科目)	—	0	14	0		—		0	1	0	0	0	兼11	—	
情報処理	情報基礎演習	1前	1											兼5 共同		
	情報倫理・応用演習	1前・後	1											兼6 共同		
	情報統計演習	1・2前・後	1											兼2 共同		
	情報管理演習	1・2前・後	1											兼2 共同		
	情報発展演習	1・2前・後	1											兼2 共同		
	小計(5科目)	—	2	3	0		—		0	1	0	0	0	兼6	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	外国語	英語Ⅰa	1前	1			○									兼6	
		英語Ⅰb	1後	1			○									兼6	
		英語Ⅱa	1前	1			○									兼6	
		英語Ⅱb	1後	1			○									兼6	
		英語Ⅲa	2前		1		○									兼1	
		英語Ⅲb	2後		1		○									兼1	
		英語Ⅳ	2・3・4前・後		1		○									兼1	
		検定英語	2・3・4前・後		1		○									兼1	
		ドイツ語a	1前		1		○									兼1	
		ドイツ語b	1後		1		○									兼1	
		中国語a	1前		1		○									兼1	
		中国語b	1後		1		○									兼1	
		韓国語a	1前		1		○									兼1	
		韓国語b	1後		1		○									兼1	
	小計(14科目)	—		4	10	0		—		0	0	0	0	0	0	兼12	—
	保健体育	スポーツⅠ	1前・後	1			○									兼2	
		スポーツⅡ	1前・後		1					○						兼5	共同
		スポーツⅢ	1前・後		1					○						兼4	共同
		小計(3科目)	—	1	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼5	—
	教育キャリア	Global Communication	2・3前・後		2		○									兼1	
小計(1科目)		—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼1	—	
共通教育科目	留学生特例科目																
	基礎教育科目	共通基礎	社会科学	日本事情Ⅰ	1前		2			○							兼1
				日本事情Ⅱ	1後		2			○							兼1
				小計(2科目)	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	0
	外国語	日本語Ⅰa	1前		1			○								兼1	
		日本語Ⅰb	1後		1			○								兼1	
		日本語Ⅱa	2前		1			○								兼1	
		日本語Ⅱb	2後		1			○								兼1	
	小計(4科目)	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	0	兼1	—	
	共通教育科目 合計(59科目)			—	7	72	0		—		0	1	0	0	0	0	兼48
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1					○							兼11	共同	
	チュートリアル	1前	1					○				8	1	2	1		
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1					○								共同	
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1					○								共同	
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3前・後		1				○				1				兼7	共同
	専門職連携総合演習Ⅱ	3・4前・後		1				○								兼6	共同
	防災・危機管理学	1・2前・後		1				○								兼3	オムニバス
	地域創生論	1・2前・後		1				○								兼4	共同
小計(8科目)	—	4	4	0		—		8	1	2	1	0	0	0	兼29	—	
スタンダード科目 合計(8科目)			兼1	4	4	0		—	8	1	2	1	0	0	兼29	—	

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	専門基礎分野	人体の構造と機能および心身の発達	解剖学Ⅰ	1前・後	2			○			1					兼1 共同 兼2 共同 共同 オムニバス オムニバス		
			解剖学Ⅱ	1前・後	2			○			1							
			解剖学実習	1前・後	1					○	3		1					
			生理学Ⅰ	1前・後	2			○			1							
			生理学Ⅱ	2前・後	2			○			1							
			生理学実習	2前・後	1					○	2							
			運動学	1前・後	2			○			1							
			運動学実習	2前・後	1					○	1		1					
			機能解剖学	2前・後		2		○			1		1	1				
			人間発達学	1前・後	2			○				1	2					
小計(10科目)			—	15	2	0	—			4	1	3	1	0	兼2	—		
促進病と傷害の成り立ちおよび回復過程の	医学概論	医学概論	1前・後	2			○			3					兼1 オムニバス			
		内科学Ⅰ	2前・後	1			○			1								
		内科学Ⅱ	2前・後	1			○			1								
		整形外科Ⅰ	2前・後	1			○			1								
		整形外科Ⅱ	2前・後	1			○			1								
		精神医学	2前・後	2			○			1								
		脳神経学Ⅰ	2前・後	1			○			1								
		脳神経学Ⅱ	2前・後	1			○			1								
		発達障害学	2前・後	2			○				1	1						
		小計(9科目)			—	12	0	0	—			4	1	1		0	0	0
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	リハビリテーション概論	1前・後	2			○			1					—			
		生命倫理	1前・後	2			○			1								
		リハビリテーション心理学	1前・後		2		○			1								
		加齢医学	3前・後		2		○			1								
		小計(4科目)			—	4	4	0	—			3	0	0		0	0	0
専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	1前・後	2			○				1				共同			
		理学療法研究法	3前・後	2			○			1								
		理学療法管理運営学	3前・後	2			○					1						
		小計(3科目)			—	6	0	0	—			1	1	1		0	0	0
	理学療法評価学	運動系機能能力評価学Ⅰ	2前・後	1			○						1					
		運動系機能能力評価学実習Ⅰ	2前・後	1					○				2					
		運動系機能能力評価学Ⅱ	2前・後	1			○				1							
		運動系機能能力評価学実習Ⅱ	2前・後	1					○			1	2					
		神経系機能能力評価学	2前・後	1			○				1							
		内部系機能能力評価学	2前・後	1			○				1							
生活支援系評価学		2前・後	1			○					1							
小計(7科目)			—	7	0	0	—			0	2	4	0	0	0	—		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門教育科目	専門分野	理学療法治療学	徒手療法学	3前・後		2		○			1									
			運動療法学	3前・後	2			○			1									
			物理療法学	2前・後	1				○			1								
			物理療法学実習	2前・後	1						○	1		1					兼1 共同	
			義肢装具学Ⅰ	3前・後	1				○										兼2 共同	
			義肢装具学Ⅱ	3前・後	1				○										兼1	
			内部障害理学療法治療学	3前・後	1				○				1							
			内部障害理学療法治療学実習	3前・後	1						○	1	1							共同
			運動器理学療法治療学	3前・後	1				○			1								
			運動器理学療法治療学実習	3前・後	1						○	1	1		1					共同
			スポーツ外傷治療学	3前・後	1				○			1								
			スポーツ外傷治療学演習	3前・後	1					○		1		1						
			発達障害理学療法学	3前・後	1				○					1						
			中枢神経系理学療法治療学Ⅰ	3前・後	1				○					1						
			中枢神経系理学療法治療学Ⅱ	3前・後	1				○					1						
			中枢神経系理学療法治療学実習	3前・後	1						○			1						兼1 共同
			生活支援系理学療法治療学	3前・後	1				○					1						
			生活支援系理学療法治療学実習	3前・後	1						○		1	2						共同
			臨床運動学	3前・後	1				○			1								
			臨床運動学実習	3前・後	1						○	1		2						共同
			臨床理学療法演習	3前・後	1					○		1		2						共同
小計(21科目)			—	21	2	0	—			3	2	4	1	0	兼3	—				
地域理学療法学	地域理学療法学	2前・後	1				○			1										
	地域在宅理学療法学演習	3前・後	1					○		1		1					共同			
	ヘルスプロモーション論	2前・後		2			○										兼1			
	公衆衛生学	1前・後	1				○										兼1			
小計(4科目)			—	3	2	0	—			1	0	1	0	0	兼2	—				
臨床実習	臨床体験実習	1前・後	1						○	5	2	4					兼1			
	検査測定実習	2前・後	1						○	5	2	4					兼1			
	臨床評価実習	3前・後	2						○	6	2	4					兼2			
	総合臨床実習	4前・後	14						○	5	2	4	1							
小計(4科目)			—	18	0	0	—			6	2	4	1	0	兼2	—				
卒業研究			4前・後	4				○		5	2	4								
小計(1科目)			—	4	0	0	—			5	2	4	0	0	0	—				

教 育 課 程 等 の 概 要

(健康科学部 医療福祉学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1				○		2						兼1	オムニバス
	チュートリアル	1前	1				○		1	2	2	1				
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○			1						
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				○				1					
	地域創生と危機管理	1前・後	1			○				1					兼6	オムニバス・共同(一部)
	デジタルコミュニケーション	1前	1				○								兼4	共同
	データサイエンスⅠ	1後	1				○								兼4	共同
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1				○								兼3	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1				○								兼3	
	英語リーディングⅠ	1前	1				○								兼3	
	英語リーディングⅡ	1後	1				○								兼3	
	スポーツ学	1前・後	1			○									兼1	
	スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1					○							兼8	共同
小計 (15科目)		—	15	0	0		—		3	5	3	1	0	兼25	—	
スタンダード科目 合計 (15科目)		—	15	0	0		—		3	5	3	1	0	兼25	—	
オプション科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
	小計 (4科目)	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—	
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同
		小計 (1科目)	—	0	1	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
		文学	1・2・3前・後		2		○			1						
		心理学	1・2・3前・後		2		○			1						
		芸術学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
		文化人類学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	小計 (5科目)	—	0	10	0		—		2	0	0	0	0	兼3	—	
	人間と社会	日本国憲法	1・2・3前・後		2		○				1					
		経済学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
歴史学		1・2・3前・後		2		○								兼1		
政治学		1・2・3前・後		2		○								兼1		
小計 (4科目)	—	0	8	0		—		0	1	0	0	0	兼3	—		
人間と自然	統計学	1・2・3前・後		2		○								兼1		
	数学基礎	1・2・3前・後		1		○								兼1		
	数学	1・2・3前・後		2		○								兼1		
	物理学	1・2・3前・後		2		○								兼1		
	化学	1・2・3前・後		2		○								兼1		
	生物学	1・2・3前・後		2		○								兼1		
	科学実験a	1・2・3前・後		1				○						兼3	共同	
	科学実験b	1・2・3前・後		1				○						兼4	共同	
	小計 (8科目)	—	0	13	0		—		0	0	0	0	0	兼8	—	
	総合	日本語表現法	1・2・3前・後		2		○			1						
コミュニケーション論		1・2・3前・後		2		○				1						
小計 (2科目)	—	0	4	0		—		1	1	0	0	0	0	—		
グローバル	Reading & Writing	2・3前・後		1			○							兼1		
	英語プレゼンテーション	2・3前・後		1			○							兼1		
	検定英語	2・3前・後		1			○							兼1		
	グローバル化と人間a	1・2・3前・後		1		○								兼1		
	グローバル化と人間b	1・2・3前・後		1		○			1							
	小計 (5科目)	—	0	5	0		—		1	0	0	0	0	兼4	—	
情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同	
	データ解析	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同	
	プログラミングⅡ	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同	
小計 (3科目)	—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	兼3	—		
体育健	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後		1				○						兼8		
	小計 (1科目)	—	0	1	0		—		0	0	0	0	0	兼8	—	

区 科 分 目	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考						
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手							
オ プ シ ョ ン 科 目 (ア ド バ ン ス ド)	文 化 人 間 と	人間と文化a	1・2・3前・後		1		○					1								
		人間と文化b	1・2・3前・後		1		○											兼1		
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	1	0	0				兼1	—	
	社 会 人 間 と	人間と社会a	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		人間と社会b	1・2・3前・後		1		○			1									兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			1	0	0	0	0				兼1	—	
	自 然 人 間 と	人間と自然a	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		人間と自然b	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0				兼2	—	
	総 合	教養ゼミ	1・2・3前・後		1				○	1		1							兼6	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	—			1	0	1	0	0				兼6	—	
	オ プ シ ョ ン	留学生特例科目																		
		社 会 人 間 と	日本事情 a	1・2・3前・後		2		○			1									
			日本事情 b	1・2・3前・後		2		○			1									
小計 (2科目)			—	0	4	0	—			1	0	0	0	0	0	0			—	
ル グ ロ ー バ		日本語 I	1・2・3前・後		2		○				1									
		日本語 II	1・2・3前・後		2		○				1									
		小計 (2科目)	—	0	4	0	—			0	1	0	0	0	0	0			—	
オプション科目 合計 (44科目)			—	0	64	0	—		5	5	3	1	0				兼41	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	精神保健福祉系科目	精神疾患とその治療Ⅰ		2		○									兼1
		精神疾患とその治療Ⅱ		2		○									兼1
		精神保健の課題と支援Ⅰ		2		○									兼1
		精神保健の課題と支援Ⅱ		2		○									兼1
		精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2		○									兼1
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠA		2		○				1					
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠB		2		○				1					
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡA		2		○				1					
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡB		2		○				1					
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ		2		○				1					
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		2		○				1					
		精神障害者の生活支援システム		2		○									兼1
		精神保健福祉援助演習Ⅰ		1			○			1					
		精神保健福祉援助演習Ⅱ		1			○			1					
		精神保健福祉援助演習Ⅲ		1			○			1					
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1			○			1					
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		1			○			1					
		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1			○			1					
		精神保健福祉援助実習	3後・4前・後	5					○	1					
		小計(19科目)	—	0	35	0	—	—	—	0	1	0	0	0	兼2
専門教育科目	介護福祉系科目	発達と老化の理解		2		○				1					
		認知症の理解		2		○									兼1
		認知症のケア		2		○				1					
		心と体の仕組み		2		○				1					
		介護の基本ⅠA		2		○				1					
		介護の基本ⅠB		2		○					1				
		介護の基本Ⅱ		2		○					1				
		リハビリテーション論		2		○									兼1
		レクリエーション活動援助法		1			○								兼1
		介護マネジメント論		2		○									兼1
		コミュニケーション技術Ⅰ		1			○			1					
		コミュニケーション技術Ⅱ		1			○								兼1
		家政学概論Ⅰ		2		○									兼1
		家政学概論Ⅱ		2		○									兼1
		家政学演習Ⅰ(栄養)		1			○								兼1
		家政学演習Ⅱ(被服)	2・3前・後	1			○								兼1
		生活支援技術Ⅰ		2			○				1				
		生活支援技術Ⅱ		2			○				1				
		生活支援技術Ⅲ		1			○				1				兼1
		生活支援技術Ⅳ		1			○				1				兼1
介護過程Ⅰ		2			○				1						
介護過程ⅡA		1			○					1					
介護過程ⅡB		1			○					1					
介護過程ⅢA		1			○					1					
介護過程ⅢB		1			○					1					
介護総合演習Ⅰ		1			○				1	2					
介護総合演習Ⅱ		1			○				1	2					
介護総合演習Ⅲ		1			○				1	2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目 専門科目	介護実習Ⅰ	1通		2				○	1		2						
	介護実習Ⅱ	2通		4				○	1		2						
	介護実習Ⅲ	3通		4				○	1		2						
	介護予防と終末期のケア	3前・後・4前		2		○			1								
	医療的ケアⅠ	3前・後		2		○					1				兼1		
	医療的ケアⅡ	3前・後		2		○					1				兼1		
	医療的ケアⅢ	3前・後		1			○				1				兼1		
	小計(35科目)	—		0	59	0		—		2	2	2	0	0	兼7	—	
	保育系科目	保育原理	1前・後		2		○					1					
		教育原理	1前・後		2		○									兼1	
		社会的養護Ⅰ	3前・後		2		○			1							
		保育者論	1・2前・後		2		○				1						
		保育の心理学	1前・後		2		○									兼1	
		子ども家庭支援の心理学	1前・後		2		○									兼1	
		子どもの保健	2前・後		2		○					1					
		子ども家庭支援論	2前・後		2		○				1						
		児童文学	2前・後		2		○			1						兼1	オムニバス
		子育て支援	3前・後		1			○			1						
		子どもの理解と援助	1前・後		1			○								兼1	
		子どもの健康と安全	2前・後		1			○				1					
		子どもの食と栄養	1前・後		2			○				1					
		保育の計画と評価	1前・後		2		○									兼1	
		保育内容総論	1前・後		1			○								兼1	
		保育内容演習Ⅰ(健康)	1前・後		1			○				1					
		保育内容演習Ⅱ(人間関係)	2前・後		1			○				1					
		保育内容演習Ⅲ(環境)	2前・後		1			○								兼1	
		保育内容演習Ⅳ(言葉)	1前・後		1			○			1						
		保育内容演習Ⅴ(表現)	1前・後		1			○			1						
		乳児保育Ⅰ	2前・後		2		○					1					
		乳児保育Ⅱ	2前・後		1			○				1					
		障がい児保育	3前・後		2			○				1					
		社会的養護Ⅱ	3前・後		1			○			1						
		保育内容の理解と方法Ⅰ	1前・後		2			○			1					兼2	
		保育内容の理解と方法Ⅱ	2前・後		2			○								兼1	
		保育内容の理解と方法Ⅲ	1前・後		1			○								兼1	
母子保健		3前・後		1			○				1						
病児保育		3前・後		1			○				1						
保育実習概論		2前・後		1			○			3		2					
保育実習指導Ⅰ-1(保育所)	2前・後		1			○			3		2						
保育実習指導Ⅰ-2(施設)	3前・後		1			○			3		2						
保育実習Ⅰ-1(保育所)	2通		2					○	3		2						
保育実習Ⅰ-2(施設)	3通		2					○	3		2						
保育実践演習	3・4前・後		2			○			1								
保育実習指導Ⅱ	3前・後		1			○			3		2						
保育実習Ⅱ	3通		2					○	3		2						
保育実習指導Ⅲ	3前・後		1			○			3		2						
保育実習Ⅲ	3通		2					○	3		2						
小計(39科目)	—		0	59	0		—		2	1	2	0	0	兼8	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	関連科目	国際福祉論		2		○			1							
		国際医療福祉演習	1前・後	1				○	1							
		社会福祉法概論	2前・後	2			○			1						
		音楽療法概論	2前・後	2			○			1						
		生涯発達心理学	2前・後	2			○									兼1
		障害者心理学	1前・後	2			○			1						
		社会理論と社会システム	1前・後	2			○									兼1
		社会福祉総論Ⅰ	4前・後	2			○					1				
		社会福祉総論Ⅱ	4前・後	2			○					1				
		総合福祉論	4前・後	4			○			2	6	2	1			兼1
		ウェルネスビジネス論Ⅰ	2前・後	2			○					1				
		ウェルネスビジネス論Ⅱ	2前・後	2			○					1				
	小計 (12 科目)	—	0	25	0	—			3	6	2	1	0		兼3	—
	専門演習	専門演習ⅠA	2前・後	1				○		2	5	4				
		専門演習ⅠB	2前・後	1				○		2	5	4				
		専門演習ⅡA	3前・後	2				○		2	5	4				
		専門演習ⅡB	3前・後	2				○		2	5	4				
		卒業研究Ⅰ	4前・後	2				○		3	5	4				
		卒業研究Ⅱ	4前・後	2				○		3	5	4				
小計 (6科目)	—	10	0	0	—			3	5	4	0	0		0	—	
専門教育科目 合計 (85 科目)		—	11	242	0	—			7	8	5	1	0		兼24	—
	介護概論 (介護技術を含む)	2・3前・後			2		○		1							
	社会福祉総合実習	3・4前・後			2			○			1					
	福祉科教育法Ⅰ	2・3前・後			2	○			1							
	福祉科教育法Ⅱ	2・3前・後			2	○					1					
教科及び教科の指導法に関する科目 合計 (4 科目)		—	0	0	8	—			2	0	1	0	0		0	—
	教育原論	1前・後			1	○									兼1	
	教職概論	1前・後			2	○									兼1	
	教育制度論	2前・後			2	○									兼1	
	学校教育心理学	2前・後			2	○									兼1	
	特別支援教育論	2前・後			1	○									兼1	
	教育課程論	3前・後			2	○									兼1	
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			1	○									兼1	
	特別活動の指導法	3前・後			2	○									兼1	
	教育方法論	2前・後			2	○									兼1	
	生徒指導論	2前・後			1	○									兼1	
	教育相談	3前・後			1	○									兼1	
	進路指導・キャリア教育論	3前・後			1	○									兼1	
	教育実習 (高)	3後・4前			3			○			1				兼3	
教職実践演習 (高)	4前・後			2		○				1				兼3		
教職に関する科目 合計 (14 科目)		—	0	0	23	—			0	0	1	0	0		兼6	—
合計 (223 科目)		—	26	306	31	—			7	8	5	1	0		兼66	—

学位又は称号	学士(医療福祉学)	学位又は学科の分野	社会学・社会福祉学関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<医療福祉学専攻> 【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。 【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。 【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位 <hr/> (小計) 15単位以上 ○オプション科目 選択科目：8単位 <hr/> (小計) 8単位以上 ○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：38単位 [「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「現代社会と福祉Ⅱ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅡA」2単位、「相談援助の基盤と専門職Ⅰ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅡB」2単位、「相談援助の基盤と専門職Ⅱ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「地域福祉の理論と方法Ⅰ」2単位、「地域福祉の理論と方法Ⅱ」2単位、「社会保障Ⅰ」2単位、「社会保障Ⅱ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」2単位、「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「保健医療サービス」2単位、「権利擁護と成年後見制度」2単位] 選択科目：42 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から42単位) <hr/> (小計) 91 単位以上 ○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。 (合計) 124単位以上		1 学年の学期区分	2 学期
		1 学期の授業期間	15 週
		1 時限の授業時間	90 分

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p><介護福祉学専攻></p> <p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。</p> <p>【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位</p> <hr/> <p>(小計) 15単位以上</p> <p>○オプション科目 選択科目：8単位</p> <hr/> <p>(小計) 8単位以上</p> <p>○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：56単位 〔「人体の構造と機能及び疾病」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「介護の基本ⅠA」2単位、「介護の基本ⅠB」2単位、「レクリエーション活動援助法」1単位、「コミュニケーション技術Ⅰ」1単位、「コミュニケーション技術Ⅱ」1単位、「家政学概論Ⅰ」2単位、「家政学演習Ⅰ(栄養)」1単位、「生活支援技術Ⅰ」2単位、「生活支援技術Ⅱ」2単位、「生活支援技術Ⅲ」1単位、「介護過程Ⅰ」2単位、「介護過程ⅡA」1単位、「介護過程ⅡB」1単位、「介護総合演習Ⅰ」1単位、「介護総合演習Ⅱ」1単位、「介護実習Ⅰ」2単位、「介護実習Ⅱ」4単位、「発達と老化の理解」2単位、「認知症の理解」2単位、「認知症のケア」2単位、「心と体の仕組み」2単位、「医療的ケアⅠ」2単位、「医療的ケアⅡ」2単位、「医療的ケアⅢ」1単位、「生涯発達心理学」2単位〕</p> <p>選択科目：24 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から24単位)</p> <hr/> <p>(小計) 91 単位以上</p> <p>○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。</p> <p>(合計) 124単位以上</p>	1 学年の学期区分	2 学期
	1 学期の授業期間	15 週
	1 時限の授業時間	90 分

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p><保育福祉学専攻></p> <p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。</p> <p>【履修方法】</p> <p>○スタンダード科目 必修科目：15単位</p> <hr/> <p>(小計) 15単位以上</p> <p>○オプション科目 選択科目：8単位</p> <hr/> <p>(小計) 8単位以上</p> <p>○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：50単位 〔「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「保育原理」2単位、「教育原理」2単位、「児童と家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「子育て支援」1単位、「社会的養護Ⅰ」2単位、「保育者論」2単位、「保育の心理学」2単位、「子ども家庭支援の心理学」2単位、「子どもの理解と援助」1単位、「子どもの保健」2単位、「子どもの健康と安全」1単位、「子どもの食と栄養」2単位、「子ども家庭支援論」2単位、「保育の計画と評価」2単位、「保育内容総論」1単位、「保育内容演習Ⅰ(健康)」1単位、「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」1単位、「保育内容演習Ⅲ(環境)」1単位、「保育内容演習Ⅳ(言葉)」1単位、「保育内容演習Ⅴ(表現)」1単位、「乳児保育Ⅰ」2単位、「乳児保育Ⅱ」1単位、「障がい児保育」2単位、「社会的養護Ⅱ」1単位、「保育内容の理解と方法Ⅰ」2単位、「保育内容の理解と方法Ⅱ」2単位、保育実習概論(1単位)、保育実習指導Ⅰ—1(保育所)(1単位)、保育実習指導Ⅰ—2(施設)(1単位)、保育実習Ⅰ—1(保育所)(2単位)、保育実習Ⅰ—2(施設)(2単位)〕</p> <p>選択科目：30単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から30単位)</p> <hr/> <p>(小計) 91単位以上</p> <p>○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。</p> <p>(合計) 124単位以上</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

区 科 分 目	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考							
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手								
オ プ シ ョ ン 科 目 (ア ド バ ン ス ド)	文 化 人 間 と	人間と文化a	1・2・3前・後		1		○					1									
		人間と文化b	1・2・3前・後		1		○												兼1		
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	1	0	0					兼1		
	社 会 人 間 と	人間と社会a	1・2・3前・後		1		○													兼1	
		人間と社会b	1・2・3前・後		1		○			1										兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			1	0	0	0	0					兼1		
	自 然 人 間 と	人間と自然a	1・2・3前・後		1		○													兼1	
		人間と自然b	1・2・3前・後		1		○													兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0					兼2		
	総 合	教養ゼミ	1・2・3前・後		1				○	1		1								兼6	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	—			1	0	1	0	0						兼6	
	オ プ シ ョ ン	留学生特例科目																			
		社 会 人 間 と	日本事情 a	1・2・3前・後		2		○			1										
			日本事情 b	1・2・3前・後		2		○			1										
小計 (2科目)			—	0	4	0	—			1	0	0	0	0	0	0				—	
ル グ ロ ー バ		日本語Ⅰ	1・2・3前・後		2		○				1										
		日本語Ⅱ	1・2・3前・後		2		○				1										
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—			0	1	0	0	0	0	0				—		
オプション科目 合計 (44科目)			—	0	64	0	—		5	5	3	1	0					兼41	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	精神保健福祉系科目	精神疾患とその治療Ⅰ		2		○									兼1
		精神疾患とその治療Ⅱ		2		○									兼1
		精神保健の課題と支援Ⅰ		2		○									兼1
		精神保健の課題と支援Ⅱ		2		○									兼1
		精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2		○									兼1
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠA		2		○				1					
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠB		2		○				1					
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡA		2		○				1					
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡB		2		○				1					
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ		2		○				1					
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		2		○				1					
		精神障害者の生活支援システム		2		○									兼1
		精神保健福祉援助演習Ⅰ		1				○			1				
		精神保健福祉援助演習Ⅱ		1				○			1				
		精神保健福祉援助演習Ⅲ		1				○			1				
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1				○			1				
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		1				○			1				
		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1				○			1				
		精神保健福祉援助実習	3後・4前・後	5					○		1				
	小計(19科目)	—	0	35	0	—				0	1	0	0	0	兼2
介護福祉系科目	発達と老化の理解		2		○				1						
	認知症の理解		2		○									兼1	
	認知症のケア		2		○				1						
	心と体の仕組み		2		○				1						
小計(4科目)	—	0	8	0	—				1	0	0	0	0	兼1	—
保育系科目	保育原理		2		○						1				
	教育原理		2		○									兼1	
	社会的養護Ⅰ		2		○				1						
	保育者論	1・2前・後	2		○					1					
	保育の心理学		2		○									兼1	
	子ども家庭支援の心理学		2		○									兼1	
	子どもの保健		2		○						1				
	子ども家庭支援論		2		○					1					
	児童文学		2		○				1					兼1	オムニバス
小計(9科目)	—	0	18	0	—				2	1	2	0	0	兼3	—
関連科目	国際福祉論		2		○				1						
	国際医療福祉演習		1				○		1						
	社会福祉法概論		2		○					1					
	音楽療法概論		2		○				1						
	生涯発達心理学		2		○									兼1	
	障害者心理学		2		○				1						
	社会理論と社会システム		2		○									兼1	
	社会福祉総論Ⅰ		2		○						1				
	社会福祉総論Ⅱ		2		○						1				
	総合福祉論		4		○				2	6	2	1		兼1	オムニバス
	ウェルネスビジネス論Ⅰ		2		○						1				
	ウェルネスビジネス論Ⅱ		2		○						1				
小計(12科目)	—	0	25	0	—				3	6	2	1	0	兼3	—

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育科目	専門演習 I A	2前・後	1				○		2	5	4				
	専門演習 I B	2前・後	1				○		2	5	4				
	専門演習 II A	3前・後	2				○		2	5	4				
	専門演習 II B	3前・後	2				○		2	5	4				
	卒業研究 I	4前・後	2				○		3	5	4				
	卒業研究 II	4前・後	2				○		3	5	4				
	小計 (6科目)	—	10	0	0		—		3	5	4	0	0	0	—
専門教育科目 合計 (85 科目)		—	11	150	0		—		7	8	5	1	0	兼13	—
	介護概論 (介護技術を含む)	2・3前・後			2		○		1						
	社会福祉総合実習	3・4前・後			2			○			1				
	福祉科教育法 I	2・3前・後			2	○			1						
	福祉科教育法 II	2・3前・後			2	○					1				
教科及び教科の指導法に関する科目 合計 (4 科目)		—	0	0	8		—		2	0	1	0	0	0	—
	教育原論	1前・後			1	○									兼1
	教職概論	1前・後			2	○									兼1
	教育制度論	2前・後			2	○									兼1
	学校教育心理学	2前・後			2	○									兼1
	特別支援教育論	2前・後			1	○									兼1
	教育課程論	3前・後			2	○									兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			1	○									兼1
	特別活動の指導法	3前・後			2	○									兼1
	教育方法論	2前・後			2	○									兼1
	生徒指導論	2前・後			1	○									兼1
	教育相談	3前・後			1	○									兼1
	進路指導・キャリア教育論	3前・後			1	○									兼1
	教育実習 (高)	3後・4前			3			○			1				兼3
	教職実践演習 (高)	4前・後			2			○			1				兼3
教職に関する科目 合計 (14 科目)		—	0	0	23		—		0	0	1	0	0	兼6	—
合計 (162 科目)		—	26	214	31		—		7	8	5	1	0	兼19	—

学位又は称号	学士(医療福祉学)	学位又は学科の分野	社会学・社会福祉学関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。		1 学年の学期区分	2 学期
		1 学期の授業期間	15 週
		1 時限の授業時間	90 分
【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。			
【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位			
(小計) 15単位以上			
○オプション科目 選択科目：8単位			
(小計) 8単位以上			
○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：38単位 [「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「現代社会と福祉Ⅱ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅡA」2単位、「相談援助の基盤と専門職Ⅰ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅡB」2単位、「相談援助の基盤と専門職Ⅱ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「地域福祉の理論と方法Ⅰ」2単位、「地域福祉の理論と方法Ⅱ」2単位、「社会保障Ⅰ」2単位、「社会保障Ⅱ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」2単位、「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「保健医療サービス」2単位、「権利擁護と成年後見制度」2単位] 選択科目：42 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から42単位)			
(小計) 91 単位以上			
○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。			
(合計) 124単位以上			

区 科 分 目	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考						
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手							
オ プ シ ョ ン 科 目 (ア ド バ ン ス ド)	文 化 人 間 と	人間と文化a	1・2・3前・後		1		○					1								
		人間と文化b	1・2・3前・後		1		○											兼1		
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	1	0	0				兼1	—	
	社 会 人 間 と	人間と社会a	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		人間と社会b	1・2・3前・後		1		○			1									兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			1	0	0	0	0				兼1	—	
	自 然 人 間 と	人間と自然a	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		人間と自然b	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0				兼2	—	
	総 合	教養ゼミ	1・2・3前・後		1				○	1		1							兼6	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	—			1	0	1	0	0				兼6	—	
	オ プ シ ョ ン	留学生特例科目																		
		社 会 人 間 と	日本事情 a	1・2・3前・後		2		○			1									
			日本事情 b	1・2・3前・後		2		○			1									
小計 (2科目)			—	0	4	0	—			1	0	0	0	0	0	0			—	
ル グ ロ ー バ		日本語Ⅰ	1・2・3前・後		2		○				1									
		日本語Ⅱ	1・2・3前・後		2		○				1									
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—			0	1	0	0	0	0	0			—		
オプション科目 合計 (44科目)			—	0	64	0	—		5	5	3	1	0				兼41	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	専門基礎科目	現代社会と福祉Ⅰ		2		○			1						共同 兼1 兼1
		現代社会と福祉Ⅱ		2		○			1						
		ソーシャルワーク入門	1				○		1	2					
		医学・医療概論		1			○								
		医療・生命倫理		1			○								
		小計（5科目）	—	1	6	0				3	2	0	0	0	
専門科目	社会福祉系科目	人体の構造と機能及び疾病		2		○									兼1
		社会調査の基礎		2		○									兼1
		相談援助の理論と方法ⅠA		2		○				1					
		相談援助の理論と方法ⅠB		2		○				1					
		相談援助の理論と方法ⅡA		2		○			1						
		相談援助の理論と方法ⅡB		2		○				1					
		相談援助の基盤と専門職Ⅰ		2		○				1					
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ		2		○				1					
		地域福祉の理論と方法Ⅰ		2		○				1					
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	2・3前・後	2		○				1					
		福祉行財政と福祉計画	2・3前・後	2		○									兼1
		福祉サービスの組織と経営	2・3前・後	2		○									兼1
		社会保障Ⅰ	2前・後	2		○						1			
		社会保障Ⅱ	2前・後	2		○						1			
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	1前・後	2		○						1			
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	1前・後	2		○						1			
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2前・後	2		○					1				
		障がいの理解	1前・後	2		○					1				
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	1・2前・後	2		○					1				
		低所得者に対する支援と生活保護制度	3前・後	2		○						1			
		保健医療サービス	2前・後	2		○				1					
		就労支援サービス	3前・後	1		○						1			
		権利擁護と成年後見制度	3前・後	2		○					1				
		更生保護制度	3前・後	1		○									兼1
		社会福祉援助技術演習Ⅰ	3前・後	3				○		1	3			1	
		社会福祉援助技術演習Ⅱ	3前・後	2				○		1	3			1	
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	3前・後	1				○			3	1	1		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3前・後	1				○			3	1	1		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	3前・後	1				○			3	1	1		
		社会福祉援助技術現場実習	3通	4					○		3	1	1		
小計（30科目）	—	0	58	0				2	5	1	1	0	兼4 —		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 教育科目	精神 保健 福祉 系科目	精神疾患とその治療Ⅰ		2		○									兼1	
		精神疾患とその治療Ⅱ		2		○									兼1	
		精神保健の課題と支援Ⅰ		2		○									兼1	
		精神保健の課題と支援Ⅱ		2		○									兼1	
		精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2		○									兼1	
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ		2		○				1						
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		2		○				1						
		精神障害者の生活支援システム		2		○									兼1	
	小計(8科目)	—	0	16	0	—	—	—	0	1	0	0	0	兼2	—	
	介護 福祉 系科目	介護の基本ⅠA	1前・後		2		○			1						
		介護の基本ⅠB	1前・後		2		○					1				
		介護の基本Ⅱ	3前・後		2		○					1				
		リハビリテーション論	3前・後		2		○									兼1
		レクリエーション活動援助法	1前・後		1			○								兼1
		介護マネジメント論	3前・後		2		○									兼1
		コミュニケーション技術Ⅰ	2前・後		1			○		1						
		コミュニケーション技術Ⅱ	3前・後		1			○								兼1
家政学概論Ⅰ		2前・後		2		○									兼1	
家政学概論Ⅱ		2前・後		2		○									兼1	
家政学演習Ⅰ(栄養)		2前・後		1			○								兼1	
家政学演習Ⅱ(被服)		2・3前・後		1			○								兼1	
生活支援技術Ⅰ		1前・後		2			○					1				
生活支援技術Ⅱ		1前・後		2			○					1				
生活支援技術Ⅲ		2前・後		1			○					1			兼1	
生活支援技術Ⅳ		3前・後		1			○					1			兼1	
介護過程Ⅰ		1前・後		2		○				1						
介護過程ⅡA		2前・後		1			○					1				
介護過程ⅡB		2前・後		1			○					1				
介護過程ⅢA		3前・後		1			○					1				
介護過程ⅢB		3前・後		1			○					1				
介護総合演習Ⅰ		1前・後		1			○			1		2				
介護総合演習Ⅱ		2前・後		1			○			1		2				
介護総合演習Ⅲ		3前・後		1			○			1		2				
介護実習Ⅰ		1通		2					○	1		2				
介護実習Ⅱ		2通		4					○	1		2				
介護実習Ⅲ		3通		4					○	1		2				
発達と老化の理解		2前・後		2			○			1						
認知症の理解		3前・後		2			○								兼1	
認知症のケア		3前・後		2			○			1						
心と体の仕組み	1前・後		2			○			1							
介護予防と終末期のケア	3前・後・4前		2			○			1							
医療的ケアⅠ	3前・後		2			○					1			兼1		
医療的ケアⅡ	3前・後		2			○					1			兼1		
医療的ケアⅢ	3前・後		1				○				1			兼1		
小計(35科目)	—	0	59	0	—	—	—	—	1	1	2	0	0	兼7	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	保育系科目	保育原理		2		○					1				兼1		
		教育原理		2		○											
		社会的養護 I		2		○			1								
		保育者論	1・2前・後		2		○				1						
		保育の心理学		2		○										兼1	
		子ども家庭支援の心理学		2		○										兼1	
		子どもの保健		2		○						1					
		子ども家庭支援論		2		○					1						
		児童文学		2		○				1						兼1	オムニバス
	小計 (9科目)	—	0	18	0	—	—	—	2	1	2	0	0	兼3	—		
	関連科目	国際福祉論		2		○				1							
		国際医療福祉演習		1			○			1							
		社会福祉法概論		2		○					1						
		音楽療法概論		2		○				1							
		生涯発達心理学		2		○										兼1	
		障害者心理学		2		○				1							
		社会理論と社会システム		2		○										兼1	
		社会福祉総論 I		2		○						1					
		社会福祉総論 II		2		○						1					
		総合福祉論		4		○				2	6	2	1			兼1	オムニバス
		ウェルネスビジネス論 I		2		○						1					
		ウェルネスビジネス論 II		2		○						1					
	小計 (12科目)	—	0	25	0	—	—	—	3	6	2	1	0	兼3	—		
	専門演習	専門演習 I A		1			○			2	5	4					
		専門演習 I B		1			○			2	5	4					
		専門演習 II A		2			○			2	5	4					
		専門演習 II B		2			○			2	5	4					
卒業研究 I			2			○			3	5	4						
卒業研究 II			2			○			3	5	4						
小計 (6科目)		—	10	0	0	—	—	—	3	5	4	0	0	0	—		
専門教育科目 合計 (105科目)		—	11	182	0	—	—	—	7	8	5	1	0	兼18	—		
	介護概論 (介護技術を含む)	2・3前・後			2		○		1								
	社会福祉総合実習	3・4前・後			2			○			1						
	福祉科教育法 I	2・3前・後			2	○			1								
	福祉科教育法 II	2・3前・後			2	○					1						
教科及び教科の指導法に関する科目 合計 (4科目)		—	0	0	8	—	—	—	2	0	1	0	0	兼1	—		
	教育原論				1	○									兼1		
	教職概論				2	○									兼1		
	教育制度論				2	○									兼1		
	学校教育心理学				2	○									兼1		
	特別支援教育論				1	○									兼1		
	教育課程論				2	○									兼1		
	総合的な学習の時間の指導法				1	○									兼1		
	特別活動の指導法				2	○									兼1		
	教育方法論				2	○									兼1		
	生徒指導論				1	○									兼1		
	教育相談				1	○									兼1		
	進路指導・キャリア教育論				1	○									兼1		
	教育実習 (高)	3後・4前		3				○			1				兼3		
	教職実践演習 (高)	4前・後		2			○				1				兼3		
教職に関する科目 合計 (14科目)		—	0	0	23	—	—	—	0	0	1	0	0	兼6	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
合計 (182 科目)		—	26	246	31	—			7	8	5	1	0	兼24	—
学位又は称号	学士(医療福祉学)		学位又は学科の分野			社会学・社会福祉学関係									
卒業要件及び履修方法									授業期間等						
<p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。</p> <p>【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位</p> <hr/> <p>(小計) 15単位以上</p> <p>○オプション科目 選択科目：8単位</p> <hr/> <p>(小計) 8単位以上</p> <p>○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：56単位 〔「人体の構造と機能及び疾病」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「介護の基本ⅠA」2単位、「介護の基本ⅠB」2単位、「レクリエーション活動援助法」1単位、「コミュニケーション技術Ⅰ」1単位、「コミュニケーション技術Ⅱ」1単位、「家政学概論Ⅰ」2単位、「家政学演習Ⅰ(栄養)」1単位、「生活支援技術Ⅰ」2単位、「生活支援技術Ⅱ」2単位、「生活支援技術Ⅲ」1単位、「介護過程Ⅰ」2単位、「介護過程ⅡA」1単位、「介護過程ⅡB」1単位、「介護総合演習Ⅰ」1単位、「介護総合演習Ⅱ」1単位、「介護実習Ⅰ」2単位、「介護実習Ⅱ」4単位、「発達と老化の理解」2単位、「認知症の理解」2単位、「認知症のケア」2単位、「心と体の仕組み」2単位、「医療的ケアⅠ」2単位、「医療的ケアⅡ」2単位、「医療的ケアⅢ」1単位、「生涯発達心理学」2単位〕</p> <p>選択科目：24 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から24単位)</p> <hr/> <p>(小計) 91 単位以上</p> <p>○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。</p> <p>(合計) 124単位以上</p>									1 学年の学期区分	2 学期					
									1 学期の授業期間	15 週					
									1 時限の授業時間	90 分					

区 科 分 目	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考						
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手							
オ プ シ ョ ン 科 目 (ア ド バ ン ス ド)	文 化 人 間 と	人間と文化a	1・2・3前・後		1		○				1									
		人間と文化b	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	1	0	0	0					兼1	
	社 会 人 間 と	人間と社会a	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		人間と社会b	1・2・3前・後		1		○			1									兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			1	0	0	0	0					兼1	
	自 然 人 間 と	人間と自然a	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		人間と自然b	1・2・3前・後		1		○												兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0					兼2	
	総 合	教養ゼミ	1・2・3前・後		1				○	1	1								兼6	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	—			1	1	0	0	0					兼6	
	オ プ シ ョ ン	留学生特例科目																		
		社 会 人 間 と	日本事情 a	1・2・3前・後		2		○			1									
			日本事情 b	1・2・3前・後		2		○			1									
小計 (2科目)			—	0	4	0	—			1	0	0	0	0					0	
ル グ ロ ー バ		日本語Ⅰ	1・2・3前・後		2		○				1									
		日本語Ⅱ	1・2・3前・後		2		○				1									
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—			0	1	0	0	0					0		
オプション科目 合計 (44科目)			—	0	64	0	—		2	2	0	0	0					兼41		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	現代社会と福祉Ⅰ	1前・後		2		○			1						共同 兼1 兼1 兼1
	現代社会と福祉Ⅱ	1前・後		2		○		1							
	ソーシャルワーク入門	1前・後	1				○		1	2					
	医学・医療概論	1前・後		1		○									
	医療・生命倫理	1前・後		1		○									
	小計（5科目）	—	1	6	0	—			3	2	0	0	0	兼1	
専門科目	社会福祉系科目	人体の構造と機能及び疾病	1前・後		2		○								兼1
	社会調査の基礎	2前・後		2		○									兼1
	相談援助の理論と方法ⅠA	2前・後		2		○				1					
	相談援助の理論と方法ⅠB	2前・後		2		○				1					
	相談援助の理論と方法ⅡA	2前・後		2		○			1						
	相談援助の理論と方法ⅡB	2前・後		2		○				1					
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1前・後		2		○				1					
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	1前・後		2		○				1					
	地域福祉の理論と方法Ⅰ	2前・後		2		○				1					
	地域福祉の理論と方法Ⅱ	2・3前・後		2		○				1					
	福祉行財政と福祉計画	2・3前・後		2		○									兼1
	福祉サービスの組織と経営	2・3前・後		2		○									兼1
	社会保障Ⅰ	2前・後		2		○					1				
	社会保障Ⅱ	2前・後		2		○					1				
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	1前・後		2		○					1				
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	1前・後		2		○					1				
	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2前・後		2		○					1				
	障がいの理解	1前・後		2		○					1				
	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	1・2前・後		2		○					1				
	低所得者に対する支援と生活保護制度	3前・後		2		○						1			
	保健医療サービス	2前・後		2		○				1					
	就労支援サービス	3前・後		1		○						1			
	権利擁護と成年後見制度	3前・後		2		○					1				
	更生保護制度	3前・後		1		○									兼1
	社会福祉援助技術演習Ⅰ	3前・後		3				○		1	3		1		
	社会福祉援助技術演習Ⅱ	3前・後		2				○		1	3		1		
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	3前・後		1				○			3	1	1		
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3前・後		1				○			3	1	1		
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	3前・後		1				○			3	1	1		
	社会福祉援助技術現場実習	3通		4					○		3	1	1		
小計（30科目）	—	0	58	0	—			2	5	1	1	0	兼4	—	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門 教育 科目	精神疾患とその治療Ⅰ	3前・後		2		○										兼1		
	精神疾患とその治療Ⅱ	3前・後		2		○										兼1		
	精神保健の課題と支援Ⅰ	2前・後		2		○										兼1		
	精神保健の課題と支援Ⅱ	2前・後		2		○										兼1		
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2前・後		2		○										兼1		
	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	3前・後		2		○				1								
	精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	3前・後		2		○				1								
	精神障害者の生活支援システム	3前・後		2		○											兼1	
	小計(8科目)	—	—	0	16	0	—	—	—	0	1	0	0	0	0		兼2	—
	介護 福祉 系 科目	発達と老化の理解	2前・後		2		○			1								
		認知症の理解	3前・後		2		○										兼1	
		認知症のケア	3前・後		2		○			1								
		心と体の仕組み	1前・後		2		○			1								
	小計(4科目)	—	—	0	8	0	—	—	1	0	0	0	0	0			兼1	—
	保育 系 科目	保育原理	1前・後		2		○					1						
		教育原理	1前・後		2		○										兼1	
		子育て支援	3前・後		1			○			1							
		社会的養護Ⅰ	3前・後		2		○			1								
		保育者論	1・2前・後		2		○				1							
		保育の心理学	1前・後		2		○										兼1	
		子ども家庭支援の心理学	1前・後		2		○										兼1	
		子どもの理解と援助	1前・後		1			○									兼1	
		子どもの保健	2前・後		2		○					1						
子どもの健康と安全		2前・後		1			○				1							
子どもの食と栄養		1前・後		2			○				1							
子ども家庭支援論		2前・後		2		○				1								
保育の計画と評価		1前・後		2		○										兼1		
保育内容総論		1前・後		1			○									兼1		
保育内容演習Ⅰ(健康)		1前・後		1			○					1						
保育内容演習Ⅱ(人間関係)		2前・後		1			○					1						
保育内容演習Ⅲ(環境)		2前・後		1			○									兼1		
保育内容演習Ⅳ(言葉)		1前・後		1			○			1								
保育内容演習Ⅴ(表現)		1前・後		1			○			1								
児童文学		2前・後		2		○				1						兼1	オムニバス	
乳児保育Ⅰ		2前・後		2		○						1						
乳児保育Ⅱ		2前・後		1			○					1						
障がい児保育		3前・後		2			○					1						
社会的養護Ⅱ	3前・後		1			○			1									
保育内容の理解と方法Ⅰ	1前・後		2			○			1						兼2			
保育内容の理解と方法Ⅱ	2前・後		2			○									兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	保育系科目	保育内容の理解と方法Ⅲ		1			○									兼1
		母子保健	3前・後	1			○					1				
		病児保育	3前・後	1			○					1				
		保育実習概論	2前・後	1			○			3		2				
		保育実習指導Ⅰ-1(保育所)	2前・後	1			○			3		2				
		保育実習指導Ⅰ-2(施設)	3前・後	1			○			3		2				
		保育実習Ⅰ-1(保育所)	2通	2					○	3		2				
		保育実習Ⅰ-2(施設)	3通	2					○	3		2				
		保育実践演習	3・4前・後	2				○		1						
		保育実習指導Ⅱ	3前・後	1				○		3		2				
		保育実習Ⅱ	3通	2					○	3		2				
		保育実習指導Ⅲ	3前・後	1				○		3		2				
		保育実習Ⅲ	3通	2					○	3		2				
		小計(39科目)	—	0	59	0		—			3	1	2	0	0	兼8
関連科目	国際福祉論	2前・後		2		○			1							
	国際医療福祉演習	1前・後		1			○		1							
	社会福祉法概論	2前・後		2		○				1						
	音楽療法概論	2前・後		2		○			1							
	生涯発達心理学	2前・後		2		○									兼1	
	障害者心理学	1前・後		2		○			1							
	社会理論と社会システム	1前・後		2		○									兼1	
	社会福祉総論Ⅰ	4前・後		2		○					1					
	社会福祉総論Ⅱ	4前・後		2		○					1					
	総合福祉論	4前・後		4		○			2	6	2	1			兼1	オムニバス
	ウェルネスビジネス論Ⅰ	2前・後		2		○					1					
ウェルネスビジネス論Ⅱ	2前・後		2		○					1						
小計(12科目)	—	0	25	0		—			3	6	2	1	0	兼3	—	
専門演習	専門演習ⅠA	2前・後	1				○		2	5	4					
	専門演習ⅠB	2前・後	1				○		2	5	4					
	専門演習ⅡA	3前・後	2				○		2	5	4					
	専門演習ⅡB	3前・後	2				○		2	5	4					
	卒業研究Ⅰ	4前・後	2				○		3	5	4					
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2				○		3	5	4					
小計(6科目)	—	10	0	0		—			3	5	4	0	0	0	—	
専門教育科目 合計(104科目)		—	11	172	0		—			7	8	5	1	0	兼19	—
	介護概論(介護技術を含む)	2・3前・後			2		○		1							
	社会福祉総合実習	3・4前・後			2			○			1					
	福祉科教育法Ⅰ	2・3前・後			2	○			1							
	福祉科教育法Ⅱ	2・3前・後			2	○					1					
教科及び教科の指導法に関する科目 合計(4科目)		—	0	0	8		—			2	0	1	0	0	0	—
	教育原論	1前・後			1	○									兼1	
	教職概論	1前・後			2	○									兼1	
	教育制度論	2前・後			2	○									兼1	
	学校教育心理学	2前・後			2	○									兼1	
	特別支援教育論	2前・後			1	○									兼1	
	教育課程論	3前・後			2	○									兼1	
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			1	○									兼1	
	特別活動の指導法	3前・後			2	○									兼1	
	教育方法論	2前・後			2	○									兼1	
	生徒指導論	2前・後			1	○									兼1	
	教育相談	3前・後			1	○									兼1	
	進路指導・キャリア教育論	3前・後			1	○									兼1	

区 科 分 目	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	教育実習(高)	3後・4前			3			○			1			兼3	
	教職実践演習(高)	4前・後			2		○			1			兼3		
教職に関する科目 合計(14科目)		—	0	0	23	—			0	0	1	0	0	兼6	—
合計(181科目)		—	26	236	31	—			7	8	5	1	0	兼25	—
学位又は称号	学士(医療福祉学)		学位又は学科の分野			社会学・社会福祉学関係									
卒業要件及び履修方法									授業期間等						
<p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。</p> <p>【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位</p> <hr/> <p>(小計) 15単位以上</p> <p>○オプション科目 選択科目：8単位</p> <hr/> <p>(小計) 8単位以上</p> <p>○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：50単位 〔「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「保育原理」2単位、「教育原理」2単位、「児童と家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「子育て支援」1単位、「社会的養護Ⅰ」2単位、「保育者論」2単位、「保育の心理学」2単位、「子ども家庭支援の心理学」2単位、「子どもの理解と援助」1単位、「子どもの保健」2単位、「子どもの健康と安全」1単位、「子どもの食と栄養」2単位、「子ども家庭支援論」2単位、「保育の計画と評価」2単位、「保育内容総論」1単位、「保育内容演習Ⅰ(健康)」1単位、「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」1単位、「保育内容演習Ⅲ(環境)」1単位、「保育内容演習Ⅳ(言葉)」1単位、「保育内容演習Ⅴ(表現)」1単位、「乳児保育Ⅰ」2単位、「乳児保育Ⅱ」1単位、「障がい児保育」2単位、「社会的養護Ⅱ」1単位、「保育内容の理解と方法Ⅰ」2単位、「保育内容の理解と方法Ⅱ」2単位、保育実習概論(1単位)、保育実習指導Ⅰ—1(保育所)(1単位)、保育実習指導Ⅰ—2(施設)(1単位)、保育実習Ⅰ—1(保育所)(2単位)、保育実習Ⅰ—2(施設)(2単位)〕</p> <p>選択科目：30単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から30単位)</p> <hr/> <p>(小計) 91単位以上</p> <p>○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。</p> <p>(合計) 124単位以上</p>									1学年の学期区分		2学期				
									1学期の授業期間		15週				
									1時限の授業時間		90分				

教育課程等の概要																
(健康科学部 医療経営学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1				○								兼1 オムニバス	
	チュートリアル	1前	1				○			7	3	2	1			
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○			1						
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				○			1						
	地域創生と危機管理	1前・後	1				○				1	1			兼4 オムニバス・共同(一部)	
	デジタルコミュニケーション	1前	1					○				1			兼3 共同	
	データサイエンスⅠ	1後	1					○				1			兼3 共同	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1					○		1					兼4	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1					○		1					兼4	
	英語リーディングⅠ	1前	1					○							兼5	
	英語リーディングⅡ	1後	1					○							兼5	
	スポーツ学	1前・後	1				○								兼1	
	スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1						○						兼8 共同	
小計(15科目)		—	15	0	0		—			7	4	2	1	0	兼22 —	
スタンダード科目 合計(15科目)			—	15	0	0		—		7	4	2	1	0	兼22 —	
オープン科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後		1				○						兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後		1				○						兼1	
		小計(4科目)		—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼2 —
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後		1				○							兼2 共同
		小計(1科目)		—	0	1	0		—		0	0	0	0	0	兼2 —
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		文学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		心理学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		芸術学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		文化人類学	1・2・3前・後		2			○				1				兼1
	小計(5科目)		—	0	10	0		—		0	1	0	0	0	兼4 —	
	人間と社会	法学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		経済学	1・2・3前・後	2				○			1					兼1
		歴史学	1・2・3前・後		2			○				1				兼1
		政治学	1・2・3前・後		2			○				1				兼1
	小計(4科目)		—	2	6	0		—		1	1	0	0	0	兼2 —	
	人間と自然	統計学	1・2・3前・後	2				○				1				兼1
		数学基礎	1・2・3前・後		1			○								兼1
		数学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		物理学	1・2・3前・後		2			○								兼1
		化学	1・2・3前・後		2			○								兼1
生物学		1・2・3前・後		2			○								兼1	
科学実験a		1・2・3前・後		1										○	兼3 共同	
科学実験b		1・2・3前・後		1									○		兼3 共同	
小計(8科目)		—	2	11	0		—		0	1	1	0	0	兼6 —		
総合	日本語表現法	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	コミュニケーション論	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	小計(2科目)		—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼2 —	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
オプション科目	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後	1			○									兼1	
		英語プレゼンテーション	2・3前・後	1			○									兼1	
		検定英語	2・3前・後	1				○								兼1	
		グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1			○									兼1	
		小計 (5科目)	—	0	5	0		—		0	0	0	0	0	0	0	兼5
	情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後		1			○								兼2	共同
		データ解析	1・2・3前・後		1			○								兼2	共同
		プログラミングⅡ	1・2・3前・後		1			○								兼2	共同
		小計 (3科目)	—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	0	兼3	—
	育保 健体	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後		1					○						兼8	
		小計 (1科目)	—	0	1	0		—		0	0	0	0	0	0	兼8	—
	化人 間と 文	人間と文化a	1・2・3前・後		1		○									兼1	
		人間と文化b	1・2・3前・後		1		○									兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2	—
	会人 間と 社	人間と社会a	1・2・3前・後		1		○				1					兼1	
		人間と社会b	1・2・3前・後		1		○									兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0		—		0	1	0	0	0	0	兼1	—
	然人 間と 自	人間と自然a	1・2・3前・後		1		○					1				兼1	
		人間と自然b	1・2・3前・後		1		○									兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0		—		0	0	1	0	0	0	兼1	—
	総合	教養ゼミ	1・2・3前・後		1			○			1					兼7	
		小計 (1科目)	—	0	1	0		—		0	1	0	0	0	0	兼7	—
留学生特例科目																	
オプション	会人 間と 社	日本事情 a	1・2・3前・後		2		○									兼1	
		日本事情 b	1・2・3前・後		2		○									兼1	
		小計 (2科目)	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	0	兼1	—
	ルグ ロー バ	日本語Ⅰ	1・2・3前・後		2		○									兼1	
		日本語Ⅱ	1・2・3前・後		2		○									兼1	
小計 (2科目)	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	0	兼1	—		
オプション科目 合計 (44科目)		—	4	60	0		—		1	2	1	0	0	0	兼29	—	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	専門 基礎 科目	経営学入門	1前・後	2			○			1			1		共同
		医療制度論	1前・後	2			○			1					共同
		社会保障論	1前・後	2			○			1			1		共同
		医学・医療概論	1前・後	2			○			1					
		医療関連法規	2前・後	2			○			1					
		医学用語概論	2前・後	2			○			1					
		情報システム学入門	1前・後	2			○			1					
		病院管理学	1前・後	2			○			1					
		救急処置演習	1前・後	1				○				1			
		小計 (9 科目)	—	—	17	0	0	—			4	0	1	1	0
専門 科目	専門 科目	経営組織論	2前・後		2		○						1		
		医療と経営組織	2前・後		2		○				1				
		人的資源管理論	2前・後		2		○						1		
		医療と人的資源管理	2前・後		2		○						1		
		非営利組織経営論	2後・3前		2		○						1		
		経営基礎数学	1前・後		2		○				1				
		経営科学	2前・後		2		○				1				
		生産管理論	2前・後		2		○				1				
		医療経営科学	3前・後		2		○					1			
		品質マネジメント論	3前・後		2		○					1			
		医療機器と物品管理	3前・後		2		○			1	1				共同
		医療施設建築計画論	3前・後		2		○				1				
		医療福祉ユニバーサルデザイン	3前・後		2		○				1				
		簿記論	2前・後		2		○								兼1
		簿記演習	2前・後		1			○							兼1
		会計学	2前・後		2		○								兼1
		財務管理論	2・3前・後		2		○					1			
		経営情報処理演習	2・3前・後		1			○				1			
		管理会計	2・3前・後		2		○								兼1
		非営利事業会計論	3前・後		2		○								兼1
		ミクロ経済学	2前・後		2		○				1				
		マクロ経済学	2・3前・後		2		○				1				
		公共経済学	2後・3前		2		○				1				
		医療経済学	3前・後		2		○				1				
		地域医療システム論	4前・後		2		○				1				
		医療コミュニケーション論	2前・後		2		○					1			
		マーケティング論	2後・3前		2		○				1				
		医療とマーケティング	3前・後		2		○				1				
		医療とリスクマネジメント	3前・後		2		○						1		
		医療と流通	3後・4前		2		○				1				
医療産業論	3・4前・後		2		○					1					
経営戦略論	2後・3前		2		○				1						
医療と経営戦略	3後・4前		2		○				1						

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	人体構造機能学	1後・2前		2		○									兼1
	メディカル・イングリッシュ	2前・後		2		○			1						
	臨床医学Ⅰ	2前・後		2		○									兼1
	臨床医学Ⅱ	2後・3前		2		○									兼1
	臨床医学Ⅲ	2後・3前		2		○									兼1
	臨床医学Ⅳ	2後・3前		2		○			1						
	医療倫理	2後・3前		1		○			1						
	公衆衛生学	3前・後		1		○			1						
	薬学概論	3前・後		2		○									兼1
	疾病分類学Ⅰ	2・3前・後		2		○			1						
	疾病分類学Ⅱ	2・3前・後		2		○					1				
	疾病分類学演習	3前・後		1			○		1		1				共同
	診療情報管理演習Ⅰ	3・4前・後		1			○		1						
	診療情報管理演習Ⅱ	3・4前・後		1			○		1						
	診療情報管理演習Ⅲ	3・4前・後		1			○				1				
	診療報酬制度論	2前・後		2		○			1						
	診療報酬請求演習Ⅰ	2前・後		1			○		1						
	診療報酬請求演習Ⅱ	2前・後		1			○		1						
	医師事務作業論	2後・3前		2		○			1						
	医師事務作業演習	2後・3前		1			○		1						
	医療事務概論	2・3前・後		2		○			1						
	医療統計学	2・3前・後		2		○			1						
	医療情報学Ⅰ	2前・後		2		○			1						
	医療情報学Ⅱ	2・3前・後		2		○			1						
	医療情報システム	3・4前・後		2		○					1				
	医療情報システム演習	4前・後		1			○		1						
	診療情報管理論	2前・後		2		○					1				
	情報システム学Ⅰ	2前・後		2		○			1						
	情報システム学Ⅱ	3前・後		2		○			1						
	医療経営データベース演習	3前・後		1			○		1						
	医療経営情報処理演習	3前・後		1			○		2						共同
	医療経営総合演習	2・3前・後		1			○		1						
	ビジネスマナー・接遇演習	3前・後		1			○								兼1
	医療ボランティア	1前・後		1			○		1	1	1				共同
	医療施設管理実習事前演習	2前・後		1			○		5	1	1				共同
	医療施設管理実習	3前・後		2					5	1	1				共同
	フィールドワーク	3前・後		1			○		1	1		1			共同
	インターンシップⅠ	2前・後		1					1						
	インターンシップⅡ	2前・後		1					1						
	医療経営演習Ⅰ	2前・後		1			○		6	3	2	1			
医療経営演習Ⅱ	2前・後		1			○		6	3	2	1				
専門演習Ⅰ	3前・後		2			○		6	3	1	1				
専門演習Ⅱ	3前・後		2			○		6	3	1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	卒業研究Ⅰ	4前・後	2				○		6	3	1				
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2				○		6	3	1				
	小計(78科目)	—	10	123	0		—		7	3	2	1	0	兼4	—
専門教育科目 合計(87科目)		—	27	123	0		—		7	3	2	1	0	兼4	—
合計(146科目)		—	46	183	0		—		7	4	2	1	0	兼4	—
学位又は称号		学士(医療経営学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)、経済学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。 【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。 【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位 ○オプション科目 必修科目：4単位 選択科目：4単位 (小計) 23単位以上 ○専門教育科目 ・専門基礎科目 必修科目 17単位 ・専門科目 必修科目 10単位 選択科目 64単位以上 (小計) 91単位以上 ○その他：10単位 ・オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。 (合計) 124単位以上								1学年の学期区分				2学期			
								1学期の授業期間				15週			
								1時限の授業時間				90分			

教育課程等の概要																
(健康科学部 心理学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1				○								兼2 オムニバス	
	チュートリアル	1前	1				○		1	3	2					
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○				1					
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				○			1						
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				○								兼1	
	地域創生と危機管理	1前・後	1			○									兼7 オムニバス・共同(一部)	
	デジタルコミュニケーション	1前	1				○			1					兼3 共同	
	データサイエンスⅠ	1後	1				○			1					兼3 共同	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1				○								兼3	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1				○								兼3	
	英語リーディングⅠ	1前	1				○								兼3	
	英語リーディングⅡ	1後	1				○								兼3	
	スポーツ学	1前・後	1			○									兼1	
スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1					○							兼8 共同		
小計(15科目)		—	15	0	0		—		1	6	3	0	0	兼26	—	
スタンダード科目 合計(15科目)			—	15	0	0		—	1	6	3	0	0	兼26	—	
オープン科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○			1					
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○			1					
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○			1					
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○			1					
		小計(4科目)		—	0	4	0		—	0	2	0	0	0	0	—
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後		1			○								兼2 共同
		小計(1科目)		—	0	1	0		—	0	0	0	0	0	兼2	—
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後		2		○				1					
		文学	1・2・3前・後		2		○									兼1
		心理学	1・2・3前・後		2		○									兼1
		芸術学	1・2・3前・後		2		○			1						
		文化人類学	1・2・3前・後		2		○									兼1
	小計(5科目)		—	0	10	0		—	1	1	0	0	0	兼3	—	
	人間と社会	法学	1・2・3前・後		2		○									兼1
経済学		1・2・3前・後		2		○									兼1	
歴史学		1・2・3前・後		2		○				1						
政治学		1・2・3前・後		2		○									兼1	
小計(4科目)			—	0	8	0		—	0	1	0	0	0	兼3	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
オプション科目 (ベーシック)	人間と自然	統計学	1・2・3前・後	2		○									兼1		
		数学基礎	1・2・3前・後	1		○									兼1		
		数学	1・2・3前・後	2		○									兼1		
		物理学	1・2・3前・後	2		○									兼1		
		化学	1・2・3前・後	2		○									兼1		
		生物学	1・2・3前・後	2		○									兼1		
		科学実験a	1・2・3前・後	1					○						兼3 共同		
		科学実験b	1・2・3前・後	1					○						兼4 共同		
		小計 (8科目)	—	0	13	0	—			0	0	0	0	0	0	兼8	—
		総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2		○									兼1	
		コミュニケーション論	1・2・3前・後	2		○									兼1		
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	0	兼2	—	
オプション (アドバンス)	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後	1			○								兼1		
		英語プレゼンテーション	2・3前・後	1			○								兼1		
		検定英語	2・3前・後	1			○								兼1		
		グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1		○			1								
		グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1		○									兼1		
		小計 (5科目)	—	0	5	0	—		1	0	0	0	0	0	兼4	—	
	情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後	1			○								兼2 共同		
		データ解析	1・2・3前・後	1			○								兼2 共同		
		プログラミングⅡ	1・2・3前・後	1			○								兼2 共同		
		小計 (3科目)	—	0	3	0	—		0	0	0	0	0	0	兼3	—	
	保健体育	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後	1					○						兼8		
		小計 (1科目)	—	0	1	0	—		0	0	0	0	0	0	兼8	—	
	人間と文化	人間と文化a	1・2・3前・後	1			○								兼1		
		人間と文化b	1・2・3前・後	1			○			1							
		小計 (2科目)	—	0	2	0	—		1	0	0	0	0	0	兼1	—	
	人間と社会	人間と社会a	1・2・3前・後	1			○								兼1		
		人間と社会b	1・2・3前・後	1			○								兼1		
	小計 (2科目)	—	0	2	0	—		0	0	0	0	0	0	兼2	—		
人間と自然	人間と自然a	1・2・3前・後	1			○								兼1			
	人間と自然b	1・2・3前・後	1			○								兼1			
	小計 (2科目)	—	0	2	0	—		0	0	0	0	0	0	兼2	—		
総合	教養ゼミ	1・2・3前・後	1					○						兼6			
	小計 (1科目)	—	0	1	0	—		1	1	0	0	0	0	兼6	—		
オプション 留学生特例科目	人間と社会	日本事情a	1・2・3前・後	2		○									兼1		
		日本事情b	1・2・3前・後	2		○									兼1		
		小計 (2科目)	—	0	4	0	—		0	0	0	0	0	0	兼1	—	
	グローバル	日本語Ⅰ	1・2・3前・後	2		○									兼1		
		日本語Ⅱ	1・2・3前・後	2		○									兼1		
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—		0	0	0	0	0	0	兼1	—		
オプション科目 合計 (44科目)			—	0	64	0	—		2	8	3	0	0	0	兼40	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	日本語基礎演習Ⅰ(話す・聞く)	1前・後	1					○			1					兼1	共同
	日本語基礎演習Ⅱ(読む・書く)	1前・後	1					○			1					兼1	共同
	心理学概論	1・2前・後	2				○			1	1						オムニバス
	学習・言語心理学	1・2前・後	2				○			1							
	発達心理学	1・2前・後	2				○				1						
	感情・人格心理学	1・2前・後	2				○				1	1					オムニバス
	動物心理学	2・3前・後	2				○			1							
	知覚・認知心理学	2・3前・後	2				○					1					
	神経・生理心理学	2・3前・後	2				○			1							
	色彩心理学	2・3前・後	2				○									兼1	
	心理学統計法	2・3前・後	2				○			2							共同
	心理学研究法A	2・3前・後	2				○			1							
	心理学研究法B	2・3前・後	2		2		○				1						
	心理学研究法C	3・4前・後	2		2		○				1						
	ストレスマネジメント演習	1前・後	1					○				1					
	心理学実験	2前・後	2						○	3	2	2	1				共同
	心理学応用実験	2前・後	1	1					○	3	1	2	1				共同
	コミュニケーション演習	2前・後	1					○		2	2	2	1				共同
	専門演習Ⅰ	3前・後	2					○		3	4	4	4				共同
	専門演習Ⅱ	3前・後	2					○		3	4	4	4				共同
	多変量解析演習	3・4前・後	2		2			○		1							
	外国書講読	3・4前・後	2		2			○		1	1						共同
	卒業研究Ⅰ	4前・後	2					○		3	4	4					共同
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2					○		3	4	4					共同
小計(24科目)	—	—	20	23	0			—	3	7	4	1	0		兼2	—	
臨床心理学系	臨床心理学概論	1・2前・後	2				○				1						
	心理学的支援法	2・3前・後	2				○				1	3	1				オムニバス
	公認心理師の職責	2・3前・後	2				○				1	1					オムニバス
	心理的アセスメント	2・3前・後	2				○					1					
	障害者・障害児心理学	2・3前・後	2				○				1						
	認知行動療法	3・4前・後	2				○					1					兼1
	教育・学校心理学	2・3前・後	2				○					1					
	心理学の現場(教育・発達)	3・4前・後	2					○									兼2
	学校カウンセリング	3・4前・後	2					○									兼1
	心理演習Ⅰ	2・3前・後	2					○		1	2	2					共同
	心理演習Ⅱ	2・3前・後	2					○		1	2	2					共同
	心理実習	3・4前・後	2						○		2	2					共同
関係行政論	3・4前・後	2					○				3					兼2	
小計(13科目)	—	—	0	26	0			—	1	3	3	1	0		兼4	—	
医療・健康・福祉系	健康・医療心理学	2・3前・後	2				○						1				兼1
	コミュニティ心理学	1・2前・後	2				○				1						
	福祉心理学	3・4前・後	2				○				1	1					オムニバス
	公衆衛生学	2・3前・後	2				○					1					
	睡眠改善学	2・3前・後	2				○			2							共同
	人体の構造と機能及び疾病	3・4前・後	2				○										兼1
	精神疾患とその治療Ⅰ	2・3前・後	2				○										兼1
	精神疾患とその治療Ⅱ	2・3前・後	2				○										兼1
	高齢者支援演習	3・4前・後	2					○		1							兼2
小計(9科目)	—	—	0	18	0			—	2	2	2	1	0		兼3	—	
産業・社会系	社会・集団・家族心理学A	1・2前・後	2				○				1						兼1
	社会・集団・家族心理学B	2・3前・後	2				○										
	社会調査法概論	2前・後	2				○					1					
	司法・犯罪心理学	3・4前・後	2				○										兼1
	消費者心理学	2・3前・後	2				○				1						兼1
	産業・組織心理学	3・4前・後	2				○					1					兼1
	社会心理調査法実習Ⅰ	3・4前・後	1								2	1					共同
	社会心理調査法実習Ⅱ	3・4前・後	1								2	1					共同
	心理学実践実習(産業・社会)	3・4前・後	1						○	1	1	1					共同
小計(9科目)	—	—	0	15	0			—	1	1	2	1	0		兼4	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	地域支援実習	1前・後		1				○	1			1		兼2	共同
	ビジネス演習	2前・後		2			○							兼1	共同
	コミュニケーション実習	3・4前・後		2				○		2					共同
	メディアコミュニケーション実習	2・3前・後		1				○		2	1				共同
	キャリア体験	3・4前・後		1				○			1				
	小計(5科目)	—	0	7	0		—		1	3	2	1	0	兼3	—
専門教育科目 合計(60科目)		—	20	89	0		—		4	7	4	1	0	兼14	—
合計(119科目)		—	35	153	0		—		5	8	4	1	0	兼50	—
学位又は称号	学士(心理学)		学位又は学科の分野			文学関係									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。 【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。 【履修方法】 ○スタンダード科目：必修科目15単位 ○オプション科目：選択科目19単位 (グローバルから2単位、情報学から1単位を含む。ベーシック、アドバンスドは問わない。) <hr/> (小計) 34単位以上 ○専門教育科目 必修科目：20単位 (『基礎科目』20単位) 選択科目：60単位 (『臨床心理学系』の「心理実習」、『産業・社会系』の「心理学実践実習(産業・社会)」、『コミュニケーションプログラム』の「コミュニケーション実習」の3科目のうちいずれか1科目を含め、60単位以上) <hr/> (小計) 80単位以上 ○その他：10単位(オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること) (合計) 124単位以上						1学年の学期区分		2学期							
						1学期の授業期間		15週							
						1時限の授業時間		90分							

教育課程等の概要																
(健康科学部 医療栄養学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1				○		1					兼3	オムニバス	
	チュートリアル	1前	1				○		8	1	1	1				
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				○		1							
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				○		1							
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				○		1							
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				○		1							
	地域創生と危機管理	3前・後	1			○				1						兼6
	デジタルコミュニケーション	1前	1				○									兼2
	データサイエンスⅠ	1後	1				○									兼2
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1				○									兼2
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1				○									兼2
	英語リーディングⅠ	2前	1				○									兼2
	英語リーディングⅡ	2後	1				○									兼2
	スポーツ学	2前・後	1			○										兼1
スポーツ実習Ⅰ	1・2前・後	1					○							兼8		
小計 (15 科目)		—	15	0	0		—		9	2	1	1	0	兼17	—	
スタンダード科目 合計 (15 科目)			—	15	0	0		—	9	2	1	1	0	兼17	—	
オープン科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後		1			○							兼1	
		小計 (4 科目)		—	0	4	0		—	0	0	0	0	0	兼2	—
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同
		小計 (1 科目)		—	0	1	0		—	0	0	0	0	0	兼2	—
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
		文学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
		心理学	1・2・3前・後		2		○				1				兼1	
		芸術学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
		文化人類学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	小計 (5 科目)		—	0	10	0		—	0	1	0	0	0	兼4	—	
	人間と社会	日本国憲法	1・2・3前・後		2		○								兼1	
		経済学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
		歴史学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
		政治学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	小計 (4 科目)		—	0	8	0		—	0	0	0	0	0	兼4	—	
	人間と自然	統計学	1前・後	2			○								兼1	
数学基礎		1・2・3前・後		1		○								兼1		
数学		1・2・3前・後		2		○								兼1		
物理学		1・2・3前・後		2		○								兼1		
化学		1前・後	2			○								兼1		
生物学		1前・後	2			○			1					兼1		
科学実験a		1・2・3前・後		1				○						兼2	共同	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
オプション科目	人間と自然	科学実験b	1・2・3前・後		1			○	1						兼2	共同	
		小計（8科目）	—	6	7	0		—	2	0	0	0	0		兼6	—	
オプション科目	総合	日本語表現法	1・2・3前・後		2		○								兼1		
		コミュニケーション論	1・2・3前・後		2		○								兼1		
	小計（2科目）	—	0	4	0		—	0	0	0	0	0		兼2	—		
オプション科目（アドバンスド）	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後		1			○							兼1		
		英語プレゼンテーション	2・3前・後		1			○							兼1		
		検定英語	2・3前・後		1			○							兼1		
		グローバル化と人間a	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		グローバル化と人間b	1・2・3前・後		1		○								兼2		
		小計（5科目）	—	0	5	0		—	0	0	0	0	0		兼5	—	
情報学		データサイエンスⅡ	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同	
		データ解析	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同	
		プログラミングⅡ	1・2・3前・後		1			○							兼2	共同	
		小計（3科目）	—	0	3	0		—	0	0	0	0	0		兼3	—	
育保 健体		スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後		1			○							兼8		
		小計（1科目）	—	0	1	0		—	0	0	0	0	0		兼8	—	
人間と文化		人間と文化a	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		人間と文化b	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		小計（2科目）	—	0	2	0		—	0	0	0	0	0		兼2	—	
人間と社会		人間と社会a	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		人間と社会b	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		小計（2科目）	—	0	2	0		—	0	0	0	0	0		兼2	—	
人間と自然		人間と自然a	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		人間と自然b	1・2・3前・後		1		○								兼1		
		小計（2科目）	—	0	2	0		—	0	0	0	0	0		兼2	—	
総合		教養ゼミ	1・2・3前・後		1			○			1				兼7		
		小計（1科目）	—	0	1	0		—	0	1	0	0	0		兼7	—	
オプション科目	留学生特例科目																
	人間と社会		日本事情a	1・2・3前・後		2		○								兼1	
			日本事情b	1・2・3前・後		2		○								兼1	
			小計（2科目）	—	0	4	0		—	0	0	0	0	0		兼1	—
	グローバル		日本語Ⅰ	1・2・3前・後		2		○								兼1	
			日本語Ⅱ	1・2・3前・後		2		○								兼1	
		小計（2科目）	—	0	4	0		—	0	0	0	0	0		兼1	—	
オプション科目 合計（44科目）			—	6	58	0		—	2	1	0	0	0		兼29	—	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	医療人養成に向けた基礎教育	管理栄養士概論	1前・後	1			○			4	1	1				オムニバス	
		早期体験学習	1前・後	1				○		4			1	1		一部共同	
		医療・生命倫理	1前・後	1			○			1						兼1	オムニバス
		医学・医療概論	1前・後	1			○			1						兼1	オムニバス
	健康・社会・環境と	公衆衛生学Ⅰ	1前・後	2			○			1							
		公衆衛生学Ⅱ	1前・後	2			○			1							
		公衆衛生学Ⅲ	2前・後	2			○			1							
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生理学	1前・後	2			○			1							
		解剖学	1前・後	2			○			1						兼1	
		生理解剖学実習	1前・後	1					○	2				1			共同
		生化学Ⅰ	1前・後	2			○			1							
		生化学Ⅱ	1前・後	2			○			1							
		生化学実験Ⅰ	1前・後	1					○	1				1			
		生化学実験Ⅱ	2前・後	1					○	2				1			オムニバス
		病態学Ⅰ	1前・後	2			○			1							
		病態学Ⅱ	2前・後	2			○			1							
		病態学Ⅲ	2前・後	2			○			1						兼1	オムニバス
	病態生理学実習	2前・後	1					○	2				1			共同	
	食べ物と健康	調理学	1前・後	2			○									兼1	
		調理学実習	1前・後	1					○					1		兼1	
		調理科学実験	1前・後	1					○					1		兼1	
		食品化学Ⅰ	1前・後	2			○			1							
		食品化学Ⅱ	2前・後	2			○			1							
		食品化学実験	2前・後	1					○	1				1			
		食品加工学	2前・後	2			○			1							
		食品加工学実習	3前・後	1					○	1				1			
		食品衛生学	1前・後	2			○									兼1	
		食品衛生学実験	3前・後	1					○							兼5	共同
	献立作成実習	2前・後	1					○					1		兼1		
小計（29科目）		—	44	0	0	—			8	1	1	1	4	兼9	—		
専門応用分野	基礎栄養学	基礎栄養学	1前・後	2			○			2			1			共同	
		基礎栄養学実験	2前・後	1					○	2			1			共同	
		食事摂取基準演習	2前・後	1					○	2			1			共同	
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2前・後	2			○			1							
		応用栄養学Ⅱ	2前・後	2			○			1							
		応用栄養学Ⅲ	2前・後	2			○			1							
		応用栄養学実習	2前・後	1					○	1				1			
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	1前・後	2			○			1							
		栄養教育論Ⅱ	2前・後	2			○			1							
		栄養教育論Ⅲ	2前・後	2			○			1							
		栄養教育論実習	2前・後	1					○	1				1			
	臨床栄養学	臨床栄養学総論	2前・後	2			○				1						
		臨床栄養学各論Ⅰ	2前・後	2			○				1						
臨床栄養学各論Ⅱ		3前・後	2			○			1								
臨床栄養学各論Ⅲ		3前・後	2			○			1								

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	養学 臨床栄	臨床栄養学実習Ⅰ	3前・後	1				○		1			1			
		臨床栄養学実習Ⅱ	3前・後	1				○		1			1			
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2前・後	2			○			1						
		公衆栄養学Ⅱ	3前・後	2			○			1						
		公衆栄養学実習	3前・後	1					○	1				1		
	給食経営管理論	給食経営管理総論	2前・後	2			○					1				
		給食経営管理各論	2前・後	2			○					1				
		給食経営管理実習Ⅰ	2前・後	1					○			1		2		
		給食経営管理実習Ⅱ	3前・後	1					○			1		2		
	総合演習	総合演習Ⅰ	3前・後	1					○			1		1		
		総合演習Ⅱ	4前・後		1				○			1		1	一部共同	
		総合演習Ⅲ	4前・後	1					○	1	1			1	一部共同	
		総合演習Ⅳ	4前・後		1				○	1	1			1		
		総合演習Ⅴ	4前・後		1				○	1				1		
		総合専門演習Ⅰ	3前・後	1					○	8	1	1	1	5	一部共同	
	臨地実習	総合専門演習Ⅱ	4前・後	2					○	8		1	1	5	オムニバス	
		臨地実習	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	3前・後	1					○			1		1	
			臨地実習Ⅱ（給食経営管理論）	4前・後		1				○	1	1	1		1	
			臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	4前・後	2					○	1	1			1	
			臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）	4前・後		1				○	1	1			1	
	臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）		4前・後		1				○	1				1		
	関連科目	食育演習Ⅰ	1前・後		1				○	4	1	1	1	3	集中・共同	
		食育演習Ⅱ	2前・後		1				○	4	1	1	1	3	集中・共同	
		食育演習Ⅲ	3前・後		1				○	4	1	1	1	3	集中・共同	
		国際栄養支援学演習	1・2前・後		1				○	2					兼1 共同	
		食医特論	3前・後		2		○			4					オムニバス	
		栄養薬学	3前・後		2		○			1						
		医療・福祉・介護と栄養ケア	3前・後		2		○			1						
		卒業研究Ⅰ	4前・後	2					○	8	1	1		4		
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2					○	8	1	1		4			
小計（45科目）		—	51	16	0	—			9	1	1	1	5	兼1	—	
専門教育科目 合計（74科目）		—	95	16	0	—			9	1	1	1	5	兼10	—	
栄養に係る教育に関する科目																
	学校栄養教育論Ⅰ	3前・後		2		○								兼2	オムニバス	
	学校栄養教育論Ⅱ	3前・後		2		○								兼2	オムニバス	
栄養に係る教育に関する科目 合計（2科目）		—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—	
教職に関する科目																
	教育原理	1前・後			1	○								兼1		
	教職概論	1前・後			2	○			1							
	教育制度論	2前・後			1	○								兼1		
	学校教育心理学	1前・後			1	○				1						
	特別支援教育論	2前・後			1	○								兼1		
	教育課程論	3前・後			2	○			1							
	道徳・特別活動論	3前・後			2	○			1							
	総合的な学習の時間論	3前・後			1	○			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育方法論	2前・後			2	○			1						
	生徒指導論	2前・後			1	○			1						
	教育相談	3前・後			1	○				1					
	栄養教育実習Ⅰ	4前・後			1			○	3	1					
	栄養教育実習Ⅱ	4前・後			1			○	3	1					
	教職実践演習(栄養教諭)	4後			2		○		3	1					
	小計(14科目)	—	0	0	19				3	1	0	0	0	兼3	—
教職に関する科目 合計(14科目)		—	0	0	19				3	1	0	0	0	兼3	—
合計(149科目)		—	116	78	19				10	2	1	1	5	兼44	—
学位又は称号	学士(医療栄養学)	学位又は学科の分野			家政関係										
卒業要件及び履修方法									授業期間等						
<p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計125単位以上を修得すること。</p> <p>【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は、48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。</p> <p>【履修方法】</p> <p>○スタンダード科目 必修科目：15単位 ----- (小計) 15単位</p> <p>○オプション科目 必修科目：6単位 選択科目：4単位 ----- (小計) 10単位以上</p> <p>○専門教育科目 必修科目：95単位 (『専門基礎分野』44単位、『専門応用分野』51単位) 選択必修科目：2単位 (『専門応用分野』の「総合演習」から選択必修科目1単位、「臨地実習」から選択必修科目1単位の計2単位) ----- (小計) 97単位以上</p> <p>○その他：3単位 『専門応用分野』及び『栄養に係る教育に関する科目』の「学校栄養教育論Ⅰ」「学校栄養教育論Ⅱ」ならびに他学科の専門教育科目から3単位 ----- (小計) 3単位以上 (合計) 125単位以上</p> <p>○教職科目 教職に必要な単位は、 『スタンダード科目』(6単位) [「スポーツ学」1単位、「スポーツ実習Ⅰ」1単位、「英語コミュニケーションⅠ」1単位、「英語コミュニケーションⅡ」1単位、「デジタルコミュニケーション」1単位、「データサイエンスⅠ」1単位]、 『オプション科目』(2単位) [「日本国憲法」2単位]、 『栄養に係る教育に関する科目』(4単位) [「学校栄養教育論Ⅰ」2単位、「学校栄養教育論Ⅱ」2単位]、 『教職に関する科目』(19単位) の合計31単位を修得しなければならない。</p>									1学年の学期区分			2学期			
									1学期の授業期間			15週			
									1時限の授業時間			90分			